

平成25年度

事業報告書

ともえ学園

平成25年度事業報告書

ともえ学園

事業

①施設入所支援事業	定員70名	内訳	男性66名	女性4名
②生活介護事業	定員70名	内訳	男性66名	女性4名
③短期入所事業	定員2名			
④日中一時支援事業	若干名			

1 基本理念

ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の尊厳にふさわしい施設支援を保障し、必要なサービスを提供する。

- ①利用者の人格、生活史そして要求を尊重し、施設入居によって本人の尊厳や利益が損なわれないよう、相手の立場をよく理解する。
- ②利用者には、社会生活上の知識や文化的な刺激を受けられるよう積極的な生活の援助を怠らない。
- ③利用者の人格や行動を情緒豊かに受け止め、共感し、共に向上できる職員となる。

【重点事項】

①コミュニケーションの積極的推進

個々に対するコミュニケーション手段を確立し正確に意志を伝える。

体罰、人権侵害の根絶。専門性の追求と処遇技術の改善。

深い信頼関係の構築（感情的、場当たりの対応の禁止）

呼称は、名前に「さん」づけを統一し徹底する。

個々の表現、要求、行動を原因から理解、把握し誠実に応える。

個々の価値観を尊重し、対話を深める。

②個々の課題の見直しと、的確な優先課題を設定しそれを推進する。

優先課題に対する一貫した取り組みを推進し、適宜評価を行う。

③個々の可能性を模索し、その開発と援助を行う。創造活動の推進。

④生活態様と生活環境を検討し、現状に満足することなく質の向上と改善を行う。

⑤無人販売所の積極的活用。

⑥年間自己啓発計画を策定し、積極的に取り組む。

⑦3つのグループ分けにより個別対応を深め、一貫した対応を図る。高齢化への対応。

⑧安全と日常の危機管理を徹底し、非常時には適切な対応を行う。

⑨個人情報の保護

1 利用者の状況

1 年間の入退所者状況

定員70名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月初在園数	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末在園数	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70

2 短期入所事業受入状況

定員 2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受入人数	2	3	1	1	4	2	2	2	1	2	1	3	24
受入回数	4	3	1	1	4	6	5	6	6	6	4	7	53
受入延日数	9	12	2	4	23	22	15	22	17	16	12	21	175

3 日中一時支援事業受入状況

定員 若干名

平成25年度は受け入れ無し。

4 在所者状況（平成26年3月31日現在）

年 齢	男	女	計
18～20歳未満	0	0	0
20～25歳未満	1	0	1
25～30歳未満	4	0	4
30～35歳未満	6	0	6
35～40歳未満	11	1	12
40～45歳未満	15	0	15
45～50歳未満	19	3	22
50～55歳未満	8	0	8
55歳以上	2	0	2
計	66	4	70

在 園 年 数	男	女	計
0～1年未満	0	0	0
1～5年未満	6	0	6
5～10年未満	6	1	7
10～15年未満	5	0	5
15～20年未満	32	2	34
20年以上	17	1	18
計	66	4	70

診 断 名	男	女	計
自閉症	49	3	52
精神発達遅滞	11	0	11
てんかん	4	0	4
統合失調症	1	1	2
その他	1	0	1
計	66	4	70

障害程度区分	男	女	計
6	22	0	22
5	27	2	29
4	15	2	17
3	2	0	2
計	66	4	70

出身市区町	広島市中区	広島市東区	広島市南区	広島市佐伯区	広島市安佐北区	広島市安佐南区	広島市安芸区	大竹市	呉市	福山市	廿日市市	三次市	東広島市	尾道市	竹原市	江田島市	庄原市	安芸郡熊野町	世羅郡世羅町	島根県松江市
男	3	2	5	9	3	4	1	2	8	4	1	4	1	2	1	1	2	1	1	2
女	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	3	6	9	3	4	1	2	8	4	1	4	1	2	1	1	2	1	1	2

山口県防府市	山口県周南市	山口県岩国市	山口県下関市	岡山県真庭市	富山県富山市	石川県津幡町	長崎県長崎市	東京都渋谷区	計
1	1	2	1	1	1	0	1	1	66
0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
1	1	2	1	1	1	1	1	1	70

(高田孝康)

2 トライアングルグループ

1 グループ目標

利用者自身の自己決定、自己選択を尊重する。

ひとり一人が安定した生活を送られるよう支援する。

2 生活

①目標 基本的生活習慣の確立を目指す。

健康、清潔の維持に努める。

②内容

衣 類 整 理：衣類を洗濯室から自室に持ち帰り、整理し入浴の準備を行う。

パジャマの準備ができたなら脱衣室の棚へ持って行く。

棚にパジャマを置き、衣類カゴは洗濯室に返す。

時間を分け、支援の必要な方は職員が側について一緒に行う。

女性浴室の洗濯機、乾燥機で女性衣類のみ洗濯し、夜勤者が片付ける。

シーツ交換：毎週日曜日に、職員と共に自分のシーツを交換する。

汚れている物は随時交換する。

失禁等で寝具が汚れやすい方については、個別に敷きパット等を使用し寝具が汚れないように配慮した。

衣 類：季節に応じた衣類、好みや使いやすさに配慮したものを提供した。

掃 除：汚れたらすぐ掃除を行う。毎朝各居室のモップ掛けを行う。

一日一部屋確実に掃除をする。トイレは1日3回以上掃除を行う。

午前、午後にピューラックスを使用し床拭きを行う。感染症が疑われる利用者が発生した場合はジアミトールに代えて床拭きを行った。

ジェスパを塗布しドアノブの清掃を行った。

入 浴：体調の悪い人以外は毎日入浴し、清潔を保つ。

同性支援で行い、ゆっくり入ってもらうよう配慮する。

食 事：落ち着いて食べて頂けるよう配慮する。

そ の 他：月1回血圧、体組成測定を行い増減をチェックする。（健康状態の把握）

毎週土曜日の午前、爪切り、その他身だしなみをチェックする。

うがい、手洗い手指乾燥での手指消毒の励行。

歯磨き時に口腔、入浴時には全身をチェックし、必要に応じ受診する。

生活用品の補充（ジャンボロール・ハミガキチューブ・歯ブラシなど）を徹底する。

髭剃りは土曜日に充電、水洗いは日曜日に行う。

③経過・課題

- ・ジャンボロールなどの補充はその都度できたが、トイレ用洗剤などの補充は他の職員に物品購入をしてもらうことが多くなってしまった。洗剤関係の量の把握ができていなかった。
- ・空気が乾燥している時期の加湿機の使用も、今年は少なくなってしまった。午前午後とも業務が忙しく時間がとれなかったが、来年度は職員の勤務態勢も変わり、冬季の加湿回数を増やす事ができると思われる。

3 口腔ケア

①目的

口腔内の残渣物除去、利用者の健康維持管理

②内容

歯磨きチューブを使用し、毎食後、確実に仕上げ磨きを行う。

前期：毎週日曜日の午後6～7名づつ電動歯ブラシを使用し口腔ケアを行う。

中期：月曜日～土曜日昼食後に約2名づつ順番に電動歯ブラシを使用し口腔ケアを行う。

後期：平日と土曜日に2名程度づつの口腔内のチェックのみを行う。

ハブラシを夜間、医務室にてピューラックスにつけ置きを行う。

③経過、課題、まとめ

前期は昨年と同様に昼食後、平日に1名と毎週日曜日の午後6名位で、歯磨き支援（電動歯ブラシを使用）をした。また、電動歯ブラシを嫌がる利用者（賀川）に対しては手動でのブラッシングを行った。

中期はグループ活動との兼ね合いで日曜日に行っていた口腔ケアを平日と土曜日のみに変更し、一日に約2名づつ行った。

後期は食事形態、勤務形態が変更した事、また、看護から進言があり平日と土曜日に2名程度づつの口腔内のチェックのみを行う事となった。また、食後の歯磨きを行う場所を2箇所の洗面所で分かれて行う事となり、混雑が減り、また、大雑把に歯磨きをして洗面所から出てしまう利用者に対して職員が仕上げを行える事に繋がった。

磨き残しや口腔内の異常がないかどうかチェックし、仕上げ磨きをその都度行った。

入眠前に4名（柏原、浅海、佃、岡本）にスポンジブラシを使用し口腔内の清潔維持に努めた。傷んだ歯ブラシはその都度更新したが、歯ブラシを噛む人や力いっぱい磨く利用者には頻繁に更新の必要があった。

嚥下、口腔状態モニタリングシートについても、その都度記入、打ち込みをして看護に確認してもらった。

出血など少しずつ減っていたようで、歯の健康が良くなった。

普段の歯磨きが短めになりがちなので、時間をかけて出来た。

今年度トライアングルでは2月末に数名の利用者が咳や37度台の発熱をする事があったがそれ以外は目立った体調不良者が出る事なく、また、感染症に感染する事もなく過ごせ、口腔内を清潔に保つ事も利用者の健康管理に繋がった部分もあると思った。

4 衛生

①目的

利用者の衛生面からの健康管理

②内容

- ・日中は布団を畳んで収める。
- ・季節に応じて、天日干し又は、乾燥機にかける。
- ・シーツ交換時、汚れた布団の更新をする。

③経過・課題

- ・以前は、布団を1日出しており、そのまま引きっぱなしの部屋が主だったが、畳がカビになり、衛生的にも良く無いため、起床時布団を収めるようにしてもらった。その際、布団も汗や失禁で濡れている物等、天日に干したり乾燥機に入れ、衛生的に寝具を使ってもらうようにしたが、利用者もスムーズに起床時たむことが出来たり、ベッドのたたみもかび臭さが無くなっているように思う。

以前は、布団が無いと寝られないと思っていた方もいたが、今は、横になりたい時は、布団なしでもベッドに横になったりして、休養をとっている。就寝前には布団を出して敷く事も日課になり、良かったと思う。

5 日課

①目標

- ・日課の流れをスムーズにする事によって、混乱を防ぎ、利用者の安定につなげる。
- ・職員の役割分担を明確にし、スムーズに支援できるようにする。

②内容

◇掃除について

- ・早出職員による居室掃除は1日1部屋を確実に出来るよう、チェック表を作成した。フィルター掃除も同時に行い、清潔な環境を保てるようにした。
- ・日勤者は午前中、廊下、居室、職員室の掃除を毎日行い、夜勤者も廊下、居室を毎日行った。また、爪切り・耳かき後にもリビングの掃除を行い、時間があれば、壁や窓、ドアノブの掃除も行った。
- ・トイレ掃除は、朝と昼が早出、午後が遅出と分担し、毎日行った。また、汚れていれば都度、掃除するよう心掛け、清潔を保つとともに匂いの発生に配慮した。
- ・各掃除場面ではスチームクリーナーを活用し、強力な汚れ等の除去を行った。

◇トイレ誘導について

- ・放尿や失禁のある利用者について、日中のトイレ誘導を引き続き行った。
- ・日中のトイレ誘導は起床時・間食前・散歩前・入浴前・眠剤服薬後等々と時間を明確にした。
- ・夜間のトイレ誘導は6名とし、基本的に就寝後、1時に誘導するよう取り組んだ。ただ、そのうち1名については22時にも誘導を行い、夜尿に注意した。

◇ロッカーの施錠について

- ・服破りやトイレへの服流し等への配慮から14名の居室ロッカーを施錠し、職員の管理とした。

◇午前の日課（クラブ活動）について

- ・環境クラブの活動内容の決定や活動の準備、進行等の管理を担当した。

◇午後の日課（散歩）について

- ・昨年に引き続き散歩を行った。人数確認の場所や職員の配置を決めて、安全に配慮しながら、散歩をスムーズに行えるようにした。
- ・天候や体調を考慮し、その日のリーダーの判断で散歩の場所（遊歩道、学園周り、室内）やそれに応じた参加者を決めた。また、強制的な参加はしない事とした。

◇ブログについて

- ・「トライアングルのできごと」について、月毎の予定表を作成し、コメントの管理を行った。

◇集いについて

- ・午前と午後の初めにリビングに集合してもらい、まずラジオ体操で軽く運動してもらおう。その後、当日の予定や食事メニュー、勤務者の紹介等を行った。集合のタイミングについてはテーマ曲を設定し、BGMで流す事によりスムーズに集合してもらった。

③まとめ

- ・日課の流れは定着しており、利用者の皆さんは時間に沿って混乱無く行動できている。
- ・午後の日課の散歩は安全に配慮し、スムーズに行えた。
- ・年度当初は職員の増員で11名での支援体制であったが、7月より1名の女性職員が産休に入った為、10名での支援体制のまま年度を終えた。よって年度初めにはグループ別の散歩や個別活動等、個々の利用者に添った支援や取り組みも行いう事ができていたが、難しい状況になった。
- ・日課マニュアルについては1月に全体的に昼食の摂り方やその後の与薬方法の変更があったことや、トライアングルでは3月から新年度に向け、いち早く勤務形態が変更になり、早出2と前遅出の勤務が増設されたりしたことで、職員事態もより良い支援を模索しながらであった為、日課マニュアルの変更が追い付いていない状況があった。来年度は早い時期に正式なマニュアルを決定し、不備のない新たなマニュアルを作成するとともに、変更があった場合には速やかに対応していきたい。

6 行事

①目標

- ・利用者個々に応じた行事を提供する。
- ・季節感を実感したり、様々な体験をしてもらえる事で充実した生活を送ってもらおう。
- ・誕生日を意識してもらい楽しい日を過ごす。

②内容

月	日	行 事 名	参加人数	場 所
4	12	花見・バスドライブ	25名	君田遊園・道の駅たかの
5	3	合同バスハイク	18名	灰塚ダム
		バスドライブ	25名	風土記の丘
6	10	バスドライブ	25名	湧永庭園
7	9	バスドライブ	25名	道の駅たたらば壺番館
8	5	夏祭り	25名	多目的棟
	5	合同バスドライブ	18名	神之瀬自然公園
9	14	バスハイク	25名	庄原北公園
10	5	レクリエーション	25名	吉舎パークゴルフ場
11	13	バスドライブ	25名	みよし運動公園

12	8	忘年会	23名	療育センタープレイルーム
1	6	新年会・初詣	25名	療育センタープレイルーム・若宮八幡神社
2	8	バスドライブ	25名	県立三次公園こども広場
3	6	バスドライブ	25名	ジミーカーターシビック記念館
5	22	宿泊旅行	4名	鷺羽山ハイランド・岡山空港・美観地区
6	26	宿泊旅行	4名	小豆島
7	10	宿泊旅行	4名	岡山県井倉洞・蒜山高原
10	21	宿泊旅行	4名	海響館・カモンワーフ・はいからっど横丁
4	18	日帰り旅行	3名	みろくの里
5	27	日帰り旅行	3名	びんご運動公園・すたみな太郎
6	21	日帰り旅行	3名	三瓶方面
7	30	日帰り旅行	3名	フォレオ広島東・打撃王
9	11	日帰り旅行	2名	香木の森
10	9	日帰り旅行	3名	いろり山賊・錦帯橋
11	15	日帰り旅行	3名	中央森林公園
12	12	日帰り旅行	3名	福山動物公園・すたみな太郎
2	12	日帰り旅行	3名	岩国錦帯橋空港
4	22	お楽しみ外出	3名	世羅高原農場
9	13	お楽しみ外出	3名	道の駅たかの
	24	お楽しみ外出	3名	備北丘陵公園・マクドナルド
11	5	お楽しみ外出	3名	湖畔の里福富
12	3	お楽しみ外出	3名	せら夢公園
1	21	お楽しみ外出	3名	県立みよし公園
2	4	お楽しみ外出	3名	可べの湯
3	20	お楽しみ外出	2名	三次ワイナリー・コリニア
	27	お楽しみ外出	2名	三瓶
4		4月誕生祝い	1名	松江道沿線（三刀屋～三次）
5		5月誕生祝い	1名	庄原かんぼの宿（サングリーン）
6		6月誕生祝い	2名	備北丘陵公園、東広島方面（ボーリング）
7		7月誕生祝い	3名	三次図書館、三次市内（川辺）、センター
8		8月誕生祝い	4名	サングリーン、コリニア、ふるさと、センター
9		9月誕生祝い	2名	サングリーン（三次駅）、CCプラザ
10		10月誕生祝い	1名	CCプラザ（しまむら）
11		11月誕生祝い	4名	三次ワイナリー、ココス、広島市内、センター
12		12月誕生祝い	1名	ザ・ビック
1		1月誕生祝い	2名	庄原ジョイフル、呉市内（自宅）
2		2月誕生祝い	3名	尾関山公園（ばり馬）、コリニア、高谷山
3		3月誕生祝い	1名	CCプラザ

③まとめ

- ・グループ会議の後に、季節の行事やバスドライブを実施した。
バスドライブでは色々な場所を設定し季節に応じた外出となった。
- ・宿泊旅行・日帰り旅行を計画する事で、個々に応じた場面を設定する事ができた。
- ・お楽しみ外出は、昼食を済ませてからの外出とし日帰り旅行と区別した。
- ・外出する場所も色々な場所を取り入れ良かったと思う。
- ・親子レクでは、家族の要望で昨年同様にグランドゴルフを家族の方と行き、楽しくゆっくりとした時間を過ごしていただいた。
- ・誕生日を意識した外出やお祝い会をしケース担当ととの関わりを持った。

7 環境（棟内改善）

①目的

利用者が生活しやすくなるよう環境整備、棟内の改善を行う。

②内容

ベッド破損の確認
ベッドの更新を促す
修理できる物は修理した
テレビの棚の改修
障害者用トイレの手すりの撤去
居室の窓のズレ修正

③経過、課題

ベッドの確認は全居室した。そのうち10件修理した。ベッドの更新は促したが、実際に更新された物は1件のみだった。テレビの棚は改修したが、使い勝手が悪い。窓のズレは修正したが、サッシが曲がっている。以上の事からテレビの棚とベッド、サッシの更新をしていくが課題である。また、ベッドの更新は促すのは止め、利用者の各担当者と相談し、購入していけたらと思う。

8 グループ活動

①目的

利用者の個性を引き出す事を目的とした物作り

②内容

日曜日午後の時間を使い物作りを行う。また、行事前などその行事にあった物を利用者全員で作り上げる。

③経過、課題

6月にオカリナ作りをしたがなかなか自分で絵を描く事の利用者さんが多く、殆ど職員が手を加えた作品ができた。12月にクリスマス会で使用するツリー作り（貼り絵）、1月に門松作り（貼り絵）を行った。

グループ活動として活動することが出来ず、十分な作品作りをすることが出来なかった。

1ヶ月ごとの予定を立てておけばスムーズに活動出来たと思う。

9 グループ会議

①目的

利用者により良いサービスを提供できるように支援内容、各活動についての課題を協議する。
ケースカンファレンスを行い支援の方法、見直しを行う。

②内容

4月	午後日課・グループ日課・行事について	ケースカンファレンス	2名
5月	グループ活動について	ケースカンファレンス	2名
6月	ベッド修繕・人権についてについて	ケースカンファレンス	2名
7月	記録・グループ日課について	ケースカンファレンス	1名
8月	日課・レクリエーションについて	ケースカンファレンス	2名
9月	個別支援計画・日課の見直しについて	ケースカンファレンス	4名
10月	文化祭・発表会について	ケースカンファレンス	2名
11月	身体拘束・日課について	ケースカンファレンス	4名
12月	歯磨き・服薬支援について	ケースカンファレンス	2名
1月	食事の流れについて	ケースカンファレンス	2名
2月	ケース担当者会議・モニタリングについて	ケースカンファレンス	3名
3月	来年度について	ケースカンファレンス	3名

③経過、課題

日課の変更等、会議内での検討事項について早い段階で答えを出すことが出来ていたため、取り組みがスムーズに開始することが出来た点は良かった。利用者支援の面においては、時間を掛けて検討を重ねたが答えを出すことが難しいケースが多く、グループ会議での限界も感じた。ケースカンファレンスにおいてはスーパーバイザー的な役割を持った者の参加が必要であると考ええる。

10 まとめ

今年度は年度途中で職員数が1名減となり、個別での取り組み実施が中途半端になってしまい利用者の皆さんに御迷惑をかけてしまった。職員数が少ない状況でも個別での活動を実施出来るよう日課などの見直しを図る必要がある。健康面において、ノロウィルスやインフルエンザなどの感染症を発症する人もなく過ごせた事は、口腔ケアや清掃、除菌などの感染症予防の効果があったと考えられる。今後も利用者の健康面においては生活習慣病の予防、社会生活を営む為に必要な機能の維持及び向上を図る取り組みを続けたい。

(塚本博志、荒瀬好司、堂西美保、高場修治、竹間和輝、桑田樹実、
川本亜由美、見土 唯、熊澤誠治、瀬戸 彩、松本真弥)

3 レインボーグループ

1 グループ目標

- ・言語的、非言語的コミュニケーションのあり方を取り入れた対応をし、安定して穏やかに生活できるよう個別配慮をした支援をする。
- ・体力作り、健康保持を考慮したプログラムを考える。
- ・安全で清潔な生活環境を提供する。
- ・楽しみのある生活を送る。

2 生活

1) 生活全般

①目的

- ・ 基本的生活習慣の確立を目指す。
- ・ 健康で規則正しい生活を送られるよう支援する。
- ・ 歯科治療、皮膚疾患、外傷などの予防、対応。

②内容

〔生活〕

食 事：脂質異常食、肝臓病食を取り入れる。

ゆっくり・美味しくをモットーに個別配慮をおこなった。

一人ひとりにあった支援を探り、絶えず見なしをおこなった。

入 浴：個々のペースにあわせた誘導、支援をする。支援しながら洗髪・洗体の自立を目指す
また怪我や皮膚疾患等無いか、全身のチェックをおこなった。

排 泄：個々に応じた排泄誘導、確認による健康状態の把握に努めた。

排泄後、始末の支援（ちり紙を渡す）をおこなう。排便確認し、排便があった場合は量や状態を日誌に記入する。

朝食後と昼食後に全員のトイレ誘導、排便チェックを実施し排便の確認を行った。

運 動：午前の集い前ラジオ体操第1、午後の集い前ラジオ体操第2を行った。

午後から二グループに分かれ、山の遊歩道と生活棟の周りの散歩をおこなった。雨天時には室内やセンター内ウォーキングを行った。

火・木曜日午後よりマシンでの運動をおこなった。

寝 具：週一回日曜日にシーツ交換、また日常的な汚れはその都度交換した。

布団乾燥機を使用して毎日2名ずつ布団の乾燥を行った。天気の良い日には出来るだけ外に干す事を努めた。

必要に応じて失禁のある人には、ラバーシーツを使用。

個々に合わせ、毛布や敷き毛布やパットを使用してもらった。

午睡用にリビングに夏はタオルケット冬は毛布5枚を共有の物として使用してもらった。

衣 類：年2回の衣替え・適宜補充。季節に応じた衣類調整等の気配りをした。衣替えの時期には、係よりケース担当に声掛けをして衣類の不足のないよう補充を依頼した。

衣類の破れなどは速やかに修正などを行い、身だしなみに気をつけた。

日用品：在庫確認による常備。早めの発注を心掛けた。

掃 除：掃除の徹底による安全、清潔な生活空間の確保。感染症予防。

- ・ 床拭き 一日2回（0:30、11:00）

感染症発症予防期間（冬場）… ピューラックス

その他の期間 … エコライザー

- ・ ドアノブ拭き 一日2回（午前・午後）

- ・ リビング床拭き … スチームモップ拭き

- ・ トイレ掃除 一日3回（8:30、13:00、15:30）

- ・ その他…窓拭き 毎日一部屋の床、窓、サンの掃除

〔衛生〕

手洗い：飲食前・外出後・クラブ活動後、手を添えシャボネットを泡立てる等個別支援による確実な手洗いを行った。手指乾燥機による確実な拭き取り。食事前と間食前のジェスパは、特に徹底して行った。

口 腔：毎食後の歯磨き実施。仕上げみがきを行う。適時、歯ブラシの交換。

毎日2名ずつ、口腔ケアを行いコンクールでブラッシングをし、歯周病防止に努めた。
また、口腔モニタリングシートに記録を行い、看護との連携を行った。外出後にはイソジンによる口腔内消毒。歯ブラシは、朝食、昼食後は滅菌消毒器で消毒。夕食後はピューラックス薄め液で消毒殺菌をおこなった。

顔拭き：毎朝、朝食後に濡れタオルでの顔拭きを行った。洗顔が出来る利用者には洗顔ソープを使い洗ってもらった。

髭剃り：起床後、個人用の電気カミソリでの髭剃り実施。

散 髪：定期的に実施。個々にあった髪型にする。

薬付け：入浴後、処置記録表を元に確実に実施。個別に、点眼薬や、皮膚疾患への薬の塗布を毎食後、決まった時間に行った。すり傷、切り傷等の消毒や軟膏塗布については、その時の利用者の状況に応じて医務との連携を取り処置をした。

加 湿：感染症予防対策でクリーンボーイによる加湿を冬場1日2回行った。

服 薬：朝、夕の薬は、廊下に椅子を起き座ってもらい、職員2名で対応し誤薬に注意した。

12月より、昼食の薬は、食後、食堂で行う取り組みを開始した。

消 毒：感染症発症予防期間には、ピューラックス、ジェスパを使い、清掃を行い感染防止に努めた。

③経過、課題

- ・利用者の年齢が上がり健康状態の観察が年々必要になっている。身体の変調等、日頃の様子観察をし、看護との連携を密とする。細かいことでも看護に相談を行い、迅速な対応をしていく。
- ・身だしなみについては、着衣のみだれ、衣類の補修、補充、季節に合った衣類などを迅速に対応していく。
- ・生活環境を清潔にし感染症を発症させないように掃除を徹底する。

2) クラブ活動

①目的

- ・午前日課係と連携し、利用者が安定して活動しやすい場の提供。
- ・スムーズに活動できるよう準備や配慮を行う。
- ・個々に合ったことを楽しみながら行い、安定を図る。

②内容

- ・月曜日～金曜日の午前

○きのこクラブ …… 13名 ホダ木の移動、水槽浸け、植菌、落ち葉・草集め
(雨天、冬季はセンター内ウォーキング、マシーンの使用、マット運動、跳び箱)

○リサイクルクラブ …… 2名 空き缶潰し、スチール缶のプルトップ外し

○いきいきクラブ …… 6名 ラジオ体操、転倒予防・口腔体操、学園周辺のウォーキング
(雨天、冬季は室内ウォーキング)

○環境クラブ …… 1名 生活棟の外周りの窓拭き、学園進入路の草集め、落ち葉拾い
(雨天、冬季はセンター内ウォーキング、マシーンの使用、マット運動、跳び箱)

*入院し退院後の利用者…きのこクラブ→いきいきクラブに変更(6月より)

環境クラブ →いきいきクラブに変更(1月より)

- ・毎月最後のクラブ活動日には午後から月例会を行い、活動の評価をおこなった。

③経過、課題

- ・山のホダ場を整備し誰でもホダ木の伏せ込みが簡単にできるように単管を設置した。
- ・プレハブで原木への植菌が出来るように単管を設置し作業しやすいように整備した。
- ・水槽へ水を貯める為のポンプのコンセントを感電しないよう交換してもらった。
- ・椎茸の収穫時期や天候により椎茸を無駄にしないようにホダ場に屋根が必要。
- ・収穫が多量の場合には、法人やこじか荘、子鹿医療療育センターに販売をしていく予定。
- ・入院退院後は所属のクラブを変わって、様子観察を行った。
- ・21人が一年間怪我もなく頑張って活動に参加することができた。
- ・現在は、10時50分に活動を終了しているが、11時15分まで伸ばし、活動の時間の幅を広げたい。
- ・個々の適性や好みに合った配置が難しかった。活動内容が利用者に合っていたのか。
- ・雨天時の活動内容が、課題である。

3) 散歩

①目的

- ・体力作り
- ・健康維持

②内容

- ・2つのグループに分かれて生活棟周り、山の遊歩道を散歩する。生活棟周りコースの利用者は歩くペースが違うが、2名の職員で対応することにより細かい支援ができるようになった。
- ・雨天時は、生活棟内や療育センター内をウォーキングしたりマット運動、体操をした。

③経過、課題

- ・個々の体調や体力に合わせて散歩を行った。（学園周り3～5周、遊歩道1～2周など）
- ・雨、雪などの天候不良の日には、室内やセンター内でのウォーキングが主になった。

4) 創造活動

①目的

- ・創造活動により生活の幅を広げ、利用者の新しい面を発見する。

②内容

- ・4月から8月までは、毎週水曜日の午後。
9月からは祭日や、雨天の午後、行事前は活動の時間を随時、設定した
- ・季節や行事に合わせ、塗り絵や広告・色紙を使用し貼り絵をしてもらう。
（鯉のぼり、七夕飾り、うちわ作り、クリスマスツリー、お正月飾り、書き初め、鬼の面）

③経過・課題

- ・鯉のぼりやクリスマスツリーは、ちぎった広告を利用し、作成した。リビング窓に外から貼り季節感を味わってもらった。
- ・8月の会議で、特定の利用者のみ参加して、他の利用者は、何もしないでいる状態なので散歩をした方が良いのでは、という意見が出された。創造活動ができる利用者もいるので、個別活動の中で行ったり、雨天時や行事前に作品を作ったてはどうか、という意見で毎週水曜日の創造活動は中止とした。
- ・1月2日、書き初め…外泊をしなかった利用者が全員参加した。
- ・鬼の面は、全員参加を目標に作成をおこなった。色塗りは全員出来るので、一対一での支援

をした。一色で塗ったり、線を引いただけ、いろんな色を使用したり、手を持って一緒に色塗りを行わなければいけない利用者もいた。

- ・個別活動を通して作製を引き続き継続し、利用者の可能性を見つけられるような活動を模索していきたい。

5) 個別活動

①目的

- ・一対一で活動をする事により利用者への理解を深め、利用者の新たな側面を確認し今後の生活や活動の向上につなげていく。

②内容

- ・月～金 15:00～約30分間、利用者にあった活動を職員と一対一で行う。
- ・個々の能力の把握を目的とした塗る、挿す、通すといった項目を設け記録を行った。
- ・利用者の活動の様子は、日誌に専用用紙を作成し記入を行った。
- ・今年度は小グループ活動の一環で中庭整備も個別活動の時間を当てた。

③経過・課題

- ・一対一で活動を行う事により、各利用者への深い関わりができ新しい側面を見る事ができたと思う。活動時間（約30分弱）については、利用者のストレスになることを考えると適切だったように思える。
- ・個別課題支援計画と重複する事が多く実施方法記録方法に一元化が必要。
- ・天候や利用者の状態により活動内容などを臨機応変に対応した。
- ・個別課題支援計画に基づいた、より具体的な活動を行っていきたい。

6) 環境

①目的

- ・怪我のない安全な空間を提供する。
- ・破損した物の交換と対策。
- ・利用者が楽しみを持って生活出来る環境作りを目指した。

②内容

- ・破壊行為等による破損は営繕係と協力をして早めに対処をおこなった。
- ・時間が有るときには床の汚れを剥離剤で洗浄し黒ずみを除去した。
- ・リビングのフローリングの一部が腐食し始めていたので業者に依頼し畳み調のタイルとフローリング調のシートを施行し室内の雰囲気を変更した。
- ・破壊行為の対策として通路の壁を壁紙から、キッチンパネルを重ね貼りし清潔感ある壁に変更。清掃もし易いため清潔な状態を維持出来るようになった。破壊行為対策として感知器にカバーも設置。

居室の床シートが剥がされた部分はフローリング調の床材を施行し清潔感ある居室に変更。

- ・利用者の癒しになるよう中庭の景観を変える取り組みを行った。インターロッキングのレンガを利用者と共同で作業を進めシンボルツリーも移植し中庭の雰囲気を一新。季節の花や野菜もプランターで栽培し、見る楽しみと収穫する楽しみを体験してもらった。

③経過、課題

- ・キッチンパネルの施行は清潔感もあり現在の時点では破損箇所もなく以前より強度が増したことで破壊行為にも対応出来ている。

- ・床フローリングは畳調タイルも変色無く以前より清潔な状態が保たれている。床への排尿便も拭き取りやすく床に浸透しないため清潔である。
- ・インターロッキング、レンガを施行した中庭は12月頃まで花を楽しむ事が出来癒しの空間となっている。徐々に利用者さんと一緒にガーデニングを続け「自分たちで作る癒しの空間」を次年度も提供したい。
- ・破損箇所については随時営繕係と協力をしてスピーディーな修繕を行えたと思う。今後も利用者が破壊に至らない支援を前提に不測の事態には早い修繕が出来るよう必要物品の補充もしておくと思う。

7) ブログ

①目的

- ・ホームページのブログを通じて利用者の生活や様子を、家族や各方面に発信する。

②内容

- ・行事や日課、日々の生活風景等を毎日紹介した。

③経過・課題

- ・撮影対象者の一ヶ月ごとの予定表を作成した。
- ・不適切な表現にならないように注意しながらレインボーグループでの生活の様子を紹介した。
- ・より充実した内容となるように、画面や配色、文字校正など、色々なところに視点を置いた。
- ・グループ職員全体が写真や文章などわかりやすく工夫していくスキルを身に付けていく事が今後の課題である。

8) 日課、日誌

①目的

- ・だれにでも分かる日課表の作成。（変更毎に更新をおこなった）
- ・確実、かつスムーズに支援する為の日課表の作成。
- ・利用者の状況や確実な支援が行える為の日誌様式の変更をおこなった。

②内容

- ・一日の流れと勤務形態を分かりやすく記載した。
- ・利用者の動きや日課の流れを確認して記載した。
- ・ミスの起こらない支援ができるよう、各マニュアルの変更と徹底化を行った。
- ・体調チェックの確認欄を追記した。
- ・居室への施錠記録欄を追記した。
- ・利用者の状況に応じて変更を行った。

③経過・課題

- ・定期的に日誌様式の見直しを行った。

9) 記録

①目的

- ・利用者の写真を、利用者が理解できる形で提供し、生活を振り返ったり、行事や外出などの思い出を楽しんで頂く。
- ・生活の充実を図る。

②内容

- ・破られる事に無ないように窓の外にボードを作成して、毎月発行のともえ通信を掲示。

③経過、課題

- ・ともえ通信以外の写真も少しずつ掲示して見てもらった。
- ・写真だけでなく、映像なども記録してリビングなどで見てもらう。

10) 業務改善

①目的

- ・業務の省力化、効率化、見直し。
- ・情報の交換や提案を行う。

②内容

- ・施設内メールの掲示板を活用して、情報の交換や提案、職員への周知を行い、業務の改善に役立てる。

③経過・課題

- ・日課や取り組みの変更など、さまざまな懸案事項について、勤務日以外の職員にも毎日の様子や経過を伝えたり、改善案を提案する事で、業務の改善に役立っていると思う。
- ・まだまだ効率悪く仕事をしている所があると思う。改善することで利用者さんに関われる時間が増えると思う。
- ・問い掛けに対し、意見が出にくい課題がある。日々、改善出来る事はないか考えながら業務をおこない、職員からの改善提案を出し易い方法を模索していく。

11) 小グループ活動

①目的

- ・少人数で行動することで、利用者の新たな側面を確認し今後の生活や活動の向上につなげていく。

②内容

- ・中庭の整備、ガーデニング
- ・ホダ場の整備、単管パイプの設置
- ・遊歩道散歩等の体力作り

③経過・課題

- ・日課の流れから時間を確保し、別々に分かれて活動する事は難しく感じた。利用者によっては、殆ど参加が出来ない人もいた。
- ・それぞれの活動を通して、興味を示したり上手に作業が出来るなど、新たな能力の発見に繋がったと思う。
- ・創造活動や個別活動、運動の係と連携して、個々の利用者に合った少グループ活動を模索していきたい。

3 行事

1) 誕生者外出

①目的

- ・誕生日を迎えた事を感じてもらう。
- ・誕生日に担当職員と外出を行い、親睦を深めてお祝いをする。

②内容

- ・誕生日の日（もしくは近日）に午後から外出をする。

外出日	年齢	外出先
-----	----	-----

4月4日	41歳	風季舎昌平本家店、尾関山
4月16日	28歳	セブンイレブン、三次運動公園
4月23日	38歳	オレンジファズ、風土記の丘
6月17日	36歳	喫茶21番館、ほたる見公園
6月30日	45歳	サングリーン
7月27日	65歳	CCプラザ、喫茶フルフル
7月27日	47歳	ジョイフル、みよし公園
8月5日	49歳	CCプラザ・みよし公園
8月31日	45歳	セブンイレブン、灰塚湖畔の森公園
9月28日	51歳	風季舎、三次運動公園
10月9日	40歳	風季舎、三次運動公園
11月3日	42歳	せらワイナリー
11月10日	45歳	CCプラザ、ナガタニ、三次運動公園
11月26日	43歳	風季舎、ナガタニ、三次運動公園
11月27日	47歳	風季舎、三次運動公園
11月30日	47歳	風季舎、風土記の丘
12月13日	41歳	ワイナリー内喫茶バイン、CCプラザ
12月27日	27歳	ココス・フタバ図書
1月19日	45歳	ゆめタウン吉田
2月10日	26歳	セブンイレブン、三次運動公園
2月15日	35歳	サングリーン、作木図書館

③経過、課題

- ・誕生日である事を理解し、年齢や興味など、個々の利用者に合った外出を計画していく事が課題である。

2) レクリエーション

①目的

- ・季節感のあるレクリエーションを提供する。

②内容

- ・レインボー会議のある日の午後に、季節に応じたレクリエーションを行う。

4月11日 お花見会 : 降雪の為、プレイルームにて会食

8月3日 夏祭り : そうめん、スイカ割り、かき氷 (センタープレイルーム)

12月15日 忘年会 : 会食、カラオケ、日々の写真を使用した1年の振り返り
(センタープレイルーム)

1月11日 新年会 : 会食(センタープレイルーム) 初詣(八幡若宮神社)(三次公園)

3月8日 お楽しみ会 : 会食(センタープレイルーム) バスドライブ(三次公園)

③経過、課題

- ・花見、夏祭り、新年会など、レクリエーションの時間を通して季節を感じて頂ける事が出来たと思う。

3) バスドライブ・バスハイキング

①目的

- ・ドライブすることによって気分転換をはかる。
- ・普段と違う場所での散策を楽しむ。

②内容

- ・レインボー会議のある日の午後にマイクロバスと8人乗りワゴンに分乗してドライブ。昼食のお弁当や間食を持って行き、山や公園で食べたり、散歩や遊具で楽しんでもらった。

実施日	行き先	参加人数
5月1日	風土記の丘	14名
5月9日	庄原運動公園	20名
6月7日	とみしの里	20名
7月4日	三次運動公園	21名
8月15日	風土記の丘	16名
9月9日	島根県民の森	21名
11月11日	灰塚ダムなかつくに公園	21名
2月5日	作木カヌー公園	21名

※はなまると合同での実施

③経過、課題

- ・体調不良者があり、全員で参加できない事があった。
- ・散策や遊具で遊ぶ時間をしっかり取り、のんびりとした時間を過ごせてもらえた。
- ・利用者は毎回楽しみにしていた。

4) 外出

①目的

カフェ外出

- ・外出することにより気分転換をはかり、通常生活の励みにする。

ランチ外出

- ・好きな昼食を食べ、一日をゆつくりと過ごし、気分転換をはかる。
- ・色々な経験の場を提供する。

スケッチ外出

- ・スケッチブック等の絵画の道具を持って、絵を描いてもらう。
- ・利用者の機能、可能性を確認する。

お楽しみ外出

- ・食えること以外の楽しい体験をしてもらう。

宿泊旅行

- ・ドライブや観光を通して気分転換を行い、学園生活の励みになるような時間を過ごす。
- ・旅行を通して学園では出来ない体験をしてもらい楽しく過ごしてもらう。
- ・職員と利用者が寝食を共にすることで、学園では見られない様子や表情を感じ親睦を深める。

②内容

- ・カフェ外出は平日（主に火曜日）の午後

ランチ外出（一日を通して昼食に趣を置いた外出）

スケッチ外出（一日を通して絵を描いてもらう外出）

お楽しみ外出（一日を通して楽しいことを体験してもらう外出）

宿泊旅行（1泊2日で外出）

実 施 日	内 容
4 月 9 日	カフェ外出：みよし公園、コンビニ
5 月 14 日	カフェ外出：セブンイレブン、三次公園
5 月 17 日	ランチ外出：ジョイフル三次、備北丘陵公園
5 月 19・20 日	宿泊旅行：鶴形山公園 岡山城 後樂園
6 月 4 日	カフェ外出：備北丘陵公園、コンビニ
6 月 14 日	お楽しみ外出：しまね海洋館アクアス
6 月 21 日	ランチ外出：ココス三次店、備北丘陵公園
7 月 9 日	カフェ外出：江の川カヌー公園
7 月 19 日	ランチ外出：ジョイフル吉田 土師ダム
7 月 24・25 日	宿泊旅行：島根県松江市～鳥取県蒜山
8 月 9 日	お楽しみ外出：福山クレセントビーチ
8 月 20 日	カフェ外出：三次公園、セブンイレブン
8 月 29 日	ランチ外出：広島西風新都（すたみな太郎、広域公園）
9 月 12 日	カフェ外出：高野道の駅
9 月 17・18 日	宿泊旅行：松江市、鳥取
9 月 26 日	ランチ外出：大鬼谷キャンプ場
10 月 15・16 日	宿泊旅行：島根県松江市
10 月 18 日	スケッチ外出：帝釈峡、マクドナルド
10 月 21 日	ランチ外出：千光寺 東珍康（尾道）
11 月 7 日	スケッチ外出：上ノ原牧場、湖畔の里福富
12 月 11 日	ランチ外出：すたみな太郎福山店 福山城
12 月 17 日	カフェ外出：サングリーン
1 月 14 日	カフェ外出：セブンイレブン、作木図書館
1 月 23 日	ランチ外出：小谷 S A～広島空港
2 月 18 日	カフェ外出：セブンイレブン・三次運動公園
2 月 26 日	ランチ外出：すすめバイキング東広島店、東広島運動公園
3 月 4 日	カフェ外出：たたら一番地
3 月 19 日	お楽しみ外出：出雲大社
3 月 25 日	カフェ外出：北の関所、神楽門前湯治村

③経過、課題

- ・利用者の方は、外出をととても楽しんでいた。
- ・2年目のスケッチ外出だったが、いつもの外出の様に食べる事がメインになってしまった。
- ・利用者の好みや興味にあわせた外出を計画できた。より楽しい経験が積めるような外出を工夫して計画していきたい。
- ・利用者同士のペースにも配慮出来た。

5) レインボーレクリエーション

平成25年10月12日（土）17家族29名参加

①目的

- ・利用者、ご家族、職員の親睦を深め、楽しい時間を一緒に過ごす。

②場所

- ・ともえ学園プレイルーム、多目的棟、中庭

③内容

- ・センター玄関で受付をしプレイルームでご家族の方だけでオリエンテーションを行った。
- ・利用者玄関で利用者の方と合流。
 - ①中庭で歓談、写真撮影
 - ②プランターカバー作り
 - ③球根と苗植えの三グループに分かれローテーションで体験していただいた。
中庭で歓談と写真撮影ではみなさん、ゆっくりと中庭を見学し写真撮影をされた。
- ・午後からは、家族毎にプレイルーム内で木工作品作り（馬やトトロ等）をしていただいた。
あらかじめ家族ごとにキットを小分けした物や、手芸品の小物を用意して飾り付けをしていただいた。

④経過・課題

- ・三グループに別れて、花を植えてもらったり、カバーに名前を吹き付けてもらったり、中庭を見てもらう事が出来て良かった。
- ・個別面談を希望されている家族に対して、実施出来なかった。きちんと時間と場所を決めて実施すれば良かった。
- ・アンケート用紙は最初に配らず、最後に配って書いてもらう時間を作った方が良かった。
(用紙の紛失をされた方が何人がおられた。)

4 グループ会議

①目的

- ・利用者のQOLを高めるため、個別処遇、日課、環境、各活動について課題を定義検討し、取り組みについての意識統一を図る。
- ・園長・事務部長・支援部長・看護課・栄養課との意見交換、情報交換を行う。

②内容

- 4月 運営会議・処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動について
小グループ活動、他利用者が廃したもののについて、環境、洗面所の棚について
ケースカンファレンス（4名）
- 5月 運営会議・処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 サイボウズの
レインボー専用の掲示板、衣類の不足を確認 トイレ掃除 薬付けの入れ物
個別活動 小グループ活動 中庭ガーデニング 運動マシーン
ケースカンファレンス（6名）
- 6月 運営会議・処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 サイボウズにレイ
ンボー専用の掲示板 口腔ケア記録 利用者の衣類 環境 運動マシーン 個別活動
午後日課 小グループ活動 ケースカンファレンス（8名）
- 7月 運営会議・処遇会議からの補足事項 行事について HP予定 クラブ活動
衣類の確認 環境 個別活動 創造活動について 小グループ活動 運動マシーン
早出Aの休憩時間について 早出B業務 日誌について 記録について 家族連絡

決裁メール 短期利用者の記録

ケースカンファレンス（4名）

- 8月 運営会議・処遇会議からの補足事項 行事について いきいきクラブ 中庭の整備
運動マシン 個別活動 早Aの休憩 ケース記録の書き方 午後日課 創造活動
ケースカンファレンス（7名）
- 9月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 口腔ケアの時間
について個別活動 小グループ活動 研修で食事の拘りについて画像 レインボーレ
クについて 人権委員会 前期事業モニタリングについて 個別支援計画について
ケースカンファレンス（2名）
- 10月 運営会議、処遇会議からの補足事項 出張報告 行事について きのこクラブ
いきいきクラブ 靴と長靴と衣類のチェック 衣替え 口腔ケアについて
リビングの床にシート 個別活動 小グループ活動 運動マシン レインボーレク
薬の準備について 居室の施錠時間の記録について
ケースカンファレンス（7名）
- 11月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について きのこクラブ 食事準備の待ち
時間 クリーンボーイの使用について レインボーリビング床補修
日誌について変更箇所 文化際（発表会）の出し物について 身体拘束記録（部屋へ
の施錠）について 個別活動のあり方
ケースカンファレンス（5名）
- 12月 運営会議、処遇会議からの補足事項 口腔ケアについて 衛生管理について
必用物品の確認について 個別活動実施内容について 記録について
食事の記録 昼食時の服薬支援の動きについて
ケースカンファレンス（3名）
- 1月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について クラブ活動 食後の台ふき
小グループ活動 昼食の時間差を作って摂取することについて
来年度の利用者のグループ編制について
ケースカンファレンス（2名）
- 2月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について 音楽祭出し物について
入浴の誘導時間 朝、昼の集いの仕方について 様子連絡票の準備
食事前の動きについて ケース担当者会議 来年に向けて 小グループ化
食後の薬の移動方法について 運動マシン 来年に向けて
ケースカンファレンス（4名）
- 3月 運営会議、処遇会議からの補足事項 行事について 健康体操について
利用者のグループの移動について 消防訓練の際の利用者さんの協力について
昼食支援の流れ 午前の間食について 配膳について
ケースカンファレンス（2名）

③経過、課題

- ・ ケースカンファレンスは、その時々の利用者の状態により、支援方法や取り組みの意見交換を行い、支援方法の統一を図った。
- ・ 会議時間が短く、協議が出来ないことがあった。協議できなかった事項や、協議事項が発生

した際には迅速にサイボウズのグループ専用の掲示板で意見を収集し対応を行った。

- ・会議で決まった改たな取り組みや業務について、会議に参加出来なかった職員へは、会議録作成前にサイボウズで周知をし、共通理解を持った。
- ・事前に会議議題用紙を作成し、係やケース担当者より議題を集めたが、積極的な提案はなかった。会議では、それぞれが活発に意見交換をして、対応策を考える事はできた。

5 まとめ

- ・一年を通じてクラブ活動や散歩、行事に元気に参加してもらうことが出来た。食事や入浴場面などでは、個別の対応やゆっくり時間を使って頂けるように、早めの誘導や時間設定を行った。
- ・利用者の骨折や体調不良により入院、手術があった。退院後の支援方法等は、迅速に統一した支援を行うため、サイボウズの掲示板を利用した。
- ・一日三回トイレ掃除を行うことで、生活棟内の臭い対策もできた。感染症予防の意識も高まり、清潔で快適な環境づくりに取り組んだ。そのためか、今年度は、ノロウイルス感染症やインフルエンザに罹患する利用者がいなかった。
- ・修繕箇所の整備や改善も行った。リビングはキッチンパネルを貼ってもらい、掃除がしやすくなった。
- ・中庭にタイルを敷き、花を植え癒しの空間を、目指すことができた。
- ・リビングは、土足禁止とし、腐蝕が始まっていたので、新たに床シートを貼ってもらい、衛生的に利用者がくつろげる空間作りを目指せた。
- ・個別活動や小グループでの活動に趣を置き、利用者と一対一や五対二で活動できる時間の設定をおこない、関わりを深めることができた。
- ・早出Bは9時から間接業務専門を継続し、掃除やパジャマの準備等を行った。早出B以外の職員は、利用者に関わる時間が増え、手洗いや排泄誘導、個別活動などに多くの時間を費やす事が出来た。
- ・来年度も、利用者の視点に立ち、安心して快適に過ごして頂ける環境づくり、個々の対応方法支援方法を模索し、楽しみのある生活がおくれるように考えて行きたい。また、一人ひとりに視点を当て、その人の真のニーズを探り出し、ゆっくりと関わる事が出来るような個別活動の時間を更に充実させていきたい。
- ・健康面では看護と連携を取り、異常の早期発見、対応に努めた。
- ・利用者が高齢化してきているので、生活習慣病の対応策として、体を動かす生活をするための日課作りをおこなっていききたい。

(久保宏子、岩戸洋三、渡邊 武、若床まゆみ、魚見敏満、掛川陽介、菅原献司、林 宏典、圓藤久明、今田弘之、上川清美、中野基行)

4 はなまるグループ

1 グループ目標

- ・利用者の個性や行動を理解し、自己選択、自己決定を尊重し、健康で豊かな生活を支援する。
- ・清潔で安心して生活して頂ける個別配慮された環境を提供する。

2 生活

1) 環境

①目 標

- ・快適に過ごせる環境整備を行う。
- ・建物、建具の損傷、対応、補修、修繕を行う。

②内 容

- ・居室以外の窓の掃除は窓掃除表（掃除場所一覧表）を作成し日勤が申し送り後窓ふきを行った。
- ・冬場は換気も含め5分程度窓を開け空気の入換えを行った。
- ・定例外泊時には掃除場所を決め普段行き届かない所の掃除を行った。
- ・リビングの床にワックスを塗布した。
- ・フィルター、排煙窓の網戸の清掃を行った。
- ・センターは午後のクラブ活動内で分担して清掃を行った。
- ・冬場は感染予防の為、午前、午後と床拭きを行い、ドアノブもジェスパで拭いた。

③まとめ

- ・建具の損傷については確認した上、営繕係に対応してもらった。電灯が切れたヶ所はその都度交換した
- ・中庭はなかなか掃除ができないので道具等整理し綺麗に保持していきたい。
- ・廊下などの共有部分は殺風景な箇所が多いので充実させていきたい。
- ・冬季は湿度が低いことが多かったので、随時クリーンボーイを使用し加湿した。

2) 衛生

①目 的

- ・感染予防と対応
- ・健康維持

②内 容

- ・入浴後も含め指示された軟膏塗布・消毒を看護のチェック表に基づき確実に行った。
- ・個々の健康状態の把握に努め、看護との連携を深め、迅速な処置、必要な受診を速やかに実施できる体制作りに努めた。
- ・午前、午後の活動後や食事前の手洗いうがいの実施、手指消毒を徹底した。
- ・毎月1回体組成測定を行い、健康管理に努めた。
- ・歯磨き支援として毎月2回、24名全員行い、口腔内のチェックを実施した。チェック表を看護職員と共有する事で速やかに歯科受診の検討をしてもらった。
- ・特に歯茎からの出血が多い人（4名）は眠剤服薬後スポンジブラシでの口腔ケアを行った。
- ・毎週土曜日に爪切り、日曜日に血圧測定を実施した。
- ・体力測定を行い、利用者さん一人一人の運動能力の把握に努めた。
- ・夕食後の歯磨き終了後、全員の歯ブラシをピューラックス液に浸け、消毒を行った。
- ・夕食後は全員仕上げ磨きを行った。昼食後は毎日2名ずつ順番にコンクール液を使用して歯磨き支援を行った。
- ・歯ブラシの毛先が開いたら交換する。
- ・ピューラックスを薄めた液での廊下や居室の拭き掃除や、ドアノブやスイッチなどよく触れる場所をジェスパで拭くことを一日二回行い、感染予防を徹底した。

- ・手洗い時、シャボネットを二つにし、手洗いの効率化を図った。
- ・季節の変わり目には、衣類整理、布団干し等チェック表を作成しを行った。

③まとめ

- ・入浴後の軟膏塗布はチェック表を使用し確実にを行った。
- ・体調の悪い人には早めに対応し配慮できたが、自分から体調の不調を訴えることが難しい方に対しては日頃の様子観察から把握する。
- ・手洗いとうがい、手指消毒を徹底して行ったことで、体調を崩すケースは少なかった。
- ・毎週土曜日の爪切り、日曜日の血圧測定は衛生と健康状態の把握の1つになった。
- ・月2回、口腔状態の観察で、虫歯の発見や、口内炎の発見、看護と情報を共有し早めに歯科受診が出来るようになった。
- ・また仕上げ磨きの回数を増やすことで出血など口腔内でのトラブルも減少している。
- ・今後も食事や睡眠時間、口腔ケアに注意し、毎日の生活が精神的、肉体的に安定した状態で規則正しい生活で過ごして頂けるように努めたい。
- ・天候が良い日には中庭に干すことが出来、皮膚疾患の利用者が少なかった。

3 グループ日課

①目的

- ・日課の流れを組み立て、利用者の皆さんが適度に身体を動かし、健康に生活できるようにする。
- ・クラブ活動以外の時間を有効に使うための内容を提供する。

②内容

- ・運動の時間を設けて球技大会・体育祭に向けて練習や、握力や30メートル走などの体力測定を行う。
- ・雨天時や寒い時期以外は、園外へ往復3Km程度の距離のウォーキングを実施し、暑い時期は粉末のスポーツドリンクを出発前に作り、途中で水分補給を行う。
- ・降雪や雨天時の運動は、療育センター内のウォーキングやトレーニングルームで様々な運動器具を使用し、体力、筋力低下の防止に努める。
- ・室内で行えるような運動以外の取り組み（マンダラ塗り絵、習字、竹太鼓）を取り入れた。
- ・サッカー、バスケットボール、自転車、フライングディスクなど少人数のグループで行った。

③まとめ

- ・午後の活動について、利用者を細かくグループ分けし、午後に運動になっている日にローテーションで塗り絵やマシントレーニングを振り分け、当日の勤務者にも解りやすいよう予定表を作り取り組んだ。
- ・君田分かれまでのウォーキングは利用者にとっても定着しつつあり、気分転換にもなっているので今後も継続する。
- ・テレビ番組の予約録画も継続して鑑賞してもう。
- ・体力測定は事前の準備が大変な面もあり、職員数の確保が必要となる。また、測定項目は多くはないが利用者さんが理解して行う事が出来るよう説明や回数を重ねる必要がある。
- ・運動器具については行う曜日、利用者を決め、降雪時や雨天時に限らず使用した。前年度に比べ使用頻度も増え、利用者もマシンに慣れてきている。
- ・サッカーや自転車など楽しんで行う利用者さんも多かった。
- ・マンダラ塗り絵を好む利用者さんも多く、集中して時間一杯塗る事が出来る日とが増えた。

- ・担当の利用者に対して、個別に取り組みをする時間を作る為、金曜日の午後、一対一で取り組みを行うように試験的に行ってみた。来年度も継続して行っていくこととする。

4 行事

1) レクリエーション

①目標

- ・季節に応じたレクリエーションを提供する事によって楽しんで頂き、安定した生活を送る。
- ・日常の生活から離れて気分転換を図って頂く。

②内容

月	日	行事名	場所
4	13	花見会	園芸ハウス横広場で弁当を食べ、がんばり園へ行く
5	8	バスドライブ	三次運動公園へ行く。散歩を行った。
6	8	ビデオ鑑賞会	センタープレイルームでアニメのDVDを鑑賞する
7	8	バスドライブ	風土記の丘へバスドライブに行く、散策を行った。
8	7	納涼祭	多目的棟で素麺流し、山女魚のつかみ取りを行った。
9	7	バスドライブ	庄原運動公園へ行く。遊具で遊び散策を行った。
10	8	レクリエーション	多目的棟で山女魚のつかみ取り、写真立て作りを行った。
11	3	藤兼祭り	藤兼地区の祭に参加する。
11	6	バスハイキング	岩屋寺の登山、山頂で昼食と間食を食べる。
12	9	忘年会	プレイルームでトランプゲームを行った。蕎麦を提供。
1	2	初詣	知波夜比売神社へお参りに行く。（在園者）
1	9	新年会	プレイルームで竹太鼓と劇を披露、焼き芋を提供。
2	7	レクリエーション	プレイルームで17種類のゲームを行った。
3	5	お楽しみ会	グランドホテルへ行く。カラオケを行った。

③まとめ

- ・季節を感じて頂ける行事が利用者さんに提供できたと思う。職員に割り振ったことで個性のある行事が提供できたと思う。
- ・レクリエーションでは家族27名の参加があり、ヤマメのつかみ取り、スライドショー鑑賞 午後からは全員一緒に写真立て作りを行ってもらった。中に入れる写真は午前中家族と撮影した物を直ぐにプリントし渡す事が出来、喜ばれた。またトラブルも無く、無事終わった。
- ・来年度は登山外出を増やして体力の向上も図っていききたい。また誕生日に担当者とお祝い外出を計画する。

2) 宿泊旅行

①目的

- ・希望を元に日常では味わえない環境を体験する事によって、リフレッシュして日々の生活の意欲に繋げ、社会性を身につける。

②内 容

月 日	参加人数	場 所
5月16日～17日	4名	倉敷美観地区、鷺羽山ハイランド
6月19日～20日	4名	宮島

7月17日～18日	4名	山口 秋吉台
9月11日～12日	4名	鳥取砂丘、玉造温泉
10月23日～24日	4名	香川、レオマワールド
11月25日～26日	2名	境港（鬼太郎列車、水木しげるロード）、出雲大社
12月17日～18日	2名	皆生温泉、日御碕方面

③まとめ

- ・起案者の方は利用者の希望を聞き全員が楽しめる場所を探し提供できたのではないかと思います。
- ・学園では見ることのできない新しい発見が多数あり職員も勉強になったと思う。
- ・食事面では限度無く食べる人が多く見守り、声掛けが必要だと思う。
- ・発作がある方や歩行が難しい利用者がある場合は看護職員に同行してもらえると安心できる。

3) 外出（半日外出／日帰り旅行）

①目 的

- ・希望に添った外出を行い、安定した生活を送る。
- ・日帰り旅行：半日では行けない場所や出来ない事などを体験し、色々な経験の場を提供する。

②内 容（半日外出）

実 施 日	参加人数	場 所
4月19日	3名	伍楽荘ボウル
5月10日	3名	伍楽荘ボウル（ボウリング）
6月14日	3名	サングリーン、ホームセンターユーホー
8月23日	3名	三次ダイソー、フタバ図書、マクドナルド
8月27日	3名	平田観光農園、100円ショップ
9月6日	3名	カルチャーセンター（プール）
9月27日	3名	カルチャーセンター（パークゴルフ）
10月18日	3名	サングリーン、七塚原SA
11月19日	3名	カルチャーセンター（卓球と喫茶）
12月13日	3名	神楽門前湯治村
12月20日	3名	サングリーン、ダイソー、マクドナルド
1月10日	3名	フタバ図書、サングリーン
1月17日	3名	伍楽荘ボウル（ボウリング）、喫茶店
2月14日	3名	神楽門前湯治村
3月14日	2名	たたら一番館等（三刀屋方面）道の駅
3月18日	3名	三次CCプラザ、すき家

（日帰り旅行）

実 施 日	参加人数	場 所
5月24日	3名	やない西蔵 菓子乃季工場
6月3日	3名	松江宍道 ふるさと森林公園
7月1日	3名	豊平どんぐり村、土師ダムサイクリングターミナル
9月25日	3名	ゴールデンユートピア邑智

10月16日	3名	マリーナホップ
11月14日	3名	カルビー廿日市工場
12月5日	3名	広島空港、藍泉館
2月20日	2名	可べの湯

③まとめ

- ・皆さん楽しみにされてる時間でもあり落ちついて外出することが出来た。
- ・外出の回数は全員ほぼ同じ回数にすることが出来た。
- ・買い物がしたい利用者や買い物をしない利用者のように、目的の違う利用者を同じ外出に組んでいた為、希望に沿った外出が出来なかった利用者もいたように思われる。
- ・今後は同じ目的の利用者同士で外出出来るよう計画を立て、利用者の希望に沿った外出を計画していきたい。

5 創造活動

①目的

- ・ものづくりを行うことで日常生活では得られない喜びを味わい、日々の生活の安定を図る。

②内 容

実施日	内容
5月27日	陶芸
6月29日	紙漉き和紙作り
7月15日	風鈴の飾り作り
8月24日	ストラップ作り
9月23日	ガラスペイント
10月20日	ストーンアート
11月4日	マグネット作り
12月23日	オリジナルパズル作り
2月22日	C Dこま作り、モノクロ写真への彩色

③まとめ

- ・ほぼ月に1回のペースで行い、この時間を心待ちにしている利用者も多く見られた。
- ・各回起案職員の持ち味を出すことができた。
- ・道具類の準備不足は解消されつつあるが、段取りの悪さ、打ち合わせ不足などは依然として目立つ。
- ・今年度から日課で取り組んでいる「マンダラ塗り絵」の成果か、利用者の集中力は徐々に向上しており、進め方によってはその集中力をそのまま創造活動の時間に活かすことも可能だった。
- ・冒頭より利用者に対して「自由に描いて」や「自由に作って」等声掛けも見られたが、自由に描いたり作ったりしてもらうために、どのような導入や展開を行うかが重要であり今後の課題として残る。

6 グループ会議

①目的

- ・利用者の生活向上と充実したサービスの提供を目指し、環境・個別処遇・各活動について課題

を提起検討する。

- ・ ケースカンファレンスを行い、支援についての意識統一と利用者に対する理解を深める。
- ・ 各部署との意見交換、情報交換、協議。

②内容

4月…クラブ活動について、午後の日課について、ケースカンファレンス

5月…日課（塗り絵、書道、マシン）について、家族面談について、文化祭に向けての竹太鼓について、ケースカンファレンス

6月…日誌記録について、創造活動について、歯磨き支援について、ケースカンファレンス

7月…納涼祭について、記録についての経過、ケースカンファレンス

8月…出張報告について、モニタリングについて、ケースカンファレンス

9月…事故報告から、薬の準備について、レクリエーションについて、入浴について

10月…入浴について、口腔ケアについて、ケースカンファレンス、レクについて

11月…出張報告、ケースカンファレンス、手洗いについて、日課について、文化祭について

12月…口腔ケアについて、ケースカンファレンス、食堂での服薬について、

1月…食事の流れについて、小グループ化について、ケースカンファレンス

2月…ケースカンファレンス、洗濯ネットの使用について、ケース担当者会議について

3月…昼食の流れ、来年度の行事について、利用者のグループ間移動について、ケースカンファレンス

③経過・課題

- ・ グループ会議は毎月開催され話し合いの場を設けることができた。また、後半より夜勤入りと明け以外の欠席者が出ないように前もって予定を聞き会議の日にちを調整した。月1回顔を見ながら意見交換が出来る場だが時間も限られており結論が出ず、サイボウズでの意見集約も多かった。
- ・ 議題の提案を早く出しそれぞれが考えをまとめて参加できるよう強く働き掛けていく。そして限られた時間を有効に使えるようスムーズな会議の進行が課題となる。
- ・ 利用者のより良い生活が送られるようにという職員の思いは皆同じなので、今後も活発な意見を出し合い討論出来る場にしていきたい。

7 まとめ

- ・ 今年度は職員の異動もあり担当者が変わった利用者さんは戸惑いながらのスタートだったと思う。午前のクラブ活動、午後からは火、木曜日は園外でのウォーキング（君田分かれまで）月、水、土、日は運動の時間としグループの中で少人数に分かれ、運動のメニュー（サッカー、バスケット、自転車、マシン、ウォーキング）を行った。また、雨天時の活動として、マンダラ塗り絵、書道、竹太鼓、等も新たに取り入れた。毎月の創造活動も継続し利用者さんの集中力、話しを聞く姿勢も向上した。もちろん楽しみにされる利用者さんも増えた。宿泊旅行も今年度は小グループで実施し、担当者との関わりを深めたり嗜好についても探ることができた。今後行事や外出など楽しみを持って生活してもらいたい。また、個々のサービス計画が実施されるよう日課等の見直しも行い、高齢化に伴う体力の低下や運動機能低下の予防に努め個別での対応も今以上に必要になると考えられる。

（藤田由香里、福永真也、山地恵子、中岡健太郎、藤 頼久、
濱本 豊、穂登原亮介、竹林祐樹、藤井秀樹、高森 強）

5 園内行事

一年を通して季節を感じる行事の他に、交流会、演奏会、学園周辺の環境整備など学園全体の行事として毎月園内で計画実施をした。

1 花まつり

①日時 平成25年4月8日 月曜日 14時～15時

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者70名、短期入所1名 計71名参加 係長：竹林 係：竹間・渡邊

司会者による「花まつり」の説明があり、誕生仏へ合掌、焼香、甘茶を誕生仏にかける、合掌、の手順にそって参加者全員が行った。甘茶をかけた後に全員で甘茶をいただいた。

2 母の日感謝祭

①日時 平成25年5月12日 日曜日 14時10分～15時10分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者66名参加 係長：林 係：熊澤・山地

司会者による「母の日」の説明があり、母親に感謝しカーネーションやお母さんの絵を描く。描けない人は塗り絵をしたり、折り紙を貼った。作品は、親の会行事の日に掲示された。

3 草刈り（1回目）

①日時 平成25年6月10日 月曜日 7時～11時

②場所 学園下の法面 県道39号線 水路沿い山側約1m範囲・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺

③内容 職員7名 係長：高田事務部長

前日に準備 草刈り機と刃の確認、燃料の補給、予備燃料の準備他

当日は、学園下法面を刈り、ともえ学園入口の看板より水路沿いに刈り、溝に落ちた草上げと、刈られた草を山に寄せていった。FOX周辺の草刈りも実施した後、水源井戸の草刈りを行い終了した。

4 父の日感謝祭

①日時 平成25年6月16日 日曜日 14時10分～15時10分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者66名 係長：渡邊 係：堂西・藤井

司会者による「父の日」の説明があり、父親に感謝し作品作りに入った。利用者さんには、各テーブルへ準備された旗へ、感謝の気持ちを込め似顔絵メッセージ、模様などを自由に書いてもらい「お父さん応援旗」の作成に挑戦していただいた。

5 JTサンダース交流会

①日時 平成25年6月18日 火曜日10時10分～10時30分

②場所 各活動場所

③内容 利用者全員 係長：穂登原

選手案内：穂登原 選手代表の方による各活動の集合場所での挨拶とふれあい、記念撮影。

クリーンクラブ(生活場所)・きのこクラブ(プレイルーム)・環境クラブと園芸クラブ(センター大作業室)・いきいきクラブ(生活場所)・リサイクルクラブ(リサイクル棟)。昨年から2回目であり交流会をつなげる事ができた。

6 朗読、アコーディオン演奏会

①日時 平成25年7月6日 土曜日 13時30分～14時30分

②場所 多目的棟

③内容 利用者70名 45家族61名 係長：桑田 係：中野・高森

利用者・ご家族一緒に、朗読やアコーディオンを楽しんでいただいた。アコーディオンの演奏はテンポ良く会場内を回られたりと盛り上がっていた。

朗読と演奏された方はボランティアとして、事前にお話しをいただき実現となった。

7 七夕祭り

①日時 平成25年7月7日 日曜日 14時～15時

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者66名 係長：高場 係：上川・竹林

司会者による「七夕」の説明があり、プロジェクターを使用して七夕の紹介とアニメ（まんが日本昔ばなし「七夕さま」）の上映、短冊の作成、短冊の飾り付け、記念撮影、七夕の歌合唱の流れでした。実習中のトリニティカレッジ広島医療福祉専門学校の実習生3名も参加。女性利用者さん3名と行事係の3名が浴衣を着用した事で会場は良い雰囲気となっていた。

8 物故者追悼式

①日時 平成25年8月8日 木曜日 14時～15時

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者70名 係長：藤 係：塚本・若床

物故者紹介、黙祷、追悼の言葉、参加者全員による献花、献歌（川の流れのように）。スクリーンに物故者の名前と写真、献歌の歌詞も映し出された。献花した花は式後ともえ会のお墓にお供えされた。

9 大掃除・ワックス掛け

①日時 平成25年8月11日 日曜日 9時30分～

②場所 ともえ学園

③内容 出勤職員全員 係長：穂登原 係：荒瀬・圓藤

学園内の大掃除とワックス掛けを作業順序（洗剤まき・ポリッシャー・吸水掃除機・自動洗浄機水切りワイパー・吸水掃除機・水拭き・乾拭き・ワックス）に沿って実施された。

10 全体活動

①日時 平成25年8月11日 日曜日 9時10分～15時30分

②場所 療育センタープレイルーム・江の川カヌー公園さくぎ

③内容 利用者41名 短期入所2名 計43名参加 係長：山地 係：菅原・熊澤

生活場所の大掃除の日、利用者さんは養育センターに移動され、2班に分かれてバスドライブ「江の川カヌー公園さくぎ」へと出かけられた。その間、バスドライブ待ちの班はプレイルームでDVD鑑賞が出来るようになっていた。

三次市社会福祉協議会より「夏・体験物語」ボランティア照会で、三次高校3年1名の希望があり受入、参加をお願いした。

11 スポレク祭

①日時 平成25年9月21日 土曜日 10時35分～14時40分

②場所 ともえ学園グラウンド・多目的棟

③内容 利用者70名 52家族86名参加 係長：見土 係：菅原・中岡

体育祭からスポレク祭に名前も内容も変更し実施。競技種目は、フライングディスク・ゲート通し・グランドゴルフ・たて輪投げ・グループ対抗リレーで、分かり易く誰でも簡単に参加出来る内容となった。ご家族の方へも参加を募り利用者さんと一緒にレクを楽しんでいただいた。

12 収穫祭

①日時 平成25年10月3日 木曜日 14時～15時

②場所 ともえ学園外宮周辺

③内容 利用者70名 係長：福永 係：高場・岩戸

司会者による「収穫祭」の説明があり、利用者さんと職員による御神輿登場で場は盛り上がりを見せた。続いて園長、各グループ代表による榊の奉納があり、御神酒(ぶどうジュース)が参加者全員に配られた。

13 草刈り（2回目）

①日時 平成25年10月11日 金曜日

12時30分～16時30分 草刈り（塚本、魚見、竹林）

13時～16時 草集め（竹間、掛川、高田）

②場所 学園下の法面 県道39号線 水路沿い山側約1m範囲・FOX周辺・神野瀬川水源井戸周辺

③内容 職員6名 係長：高田部長

前々日に準備 草刈り機と刃の確認、燃料の補給、予備燃料の準備他

当日は、早朝雨だったため、一旦延期としたが、昼前より雨があがったため実施。

ともえ学園入口の看板より水路沿いに刈り、水路の草集め、汚泥、石の処理、刈られた草を山に寄せていった。水源井戸の草刈りを行い終了した。

14 文化祭

①日時 平成25年11月20日 水曜日 11時～15時

②場所 ともえ学園生活棟 療育センタープレイルーム

③内容 利用者70名 係長：魚見 係：熊澤・藤

利用者さんの作品の展示やアトラクション、模擬店を通じて、楽しんでもらった。

・模擬店 → カフェ 白玉ぜんざい（トライアングルグループ）

カフェ ケーキと紅茶（レインボーグループ）

・ゲーム → 射的ゲーム・ボーリング（はなまるグループ）

・昼食は、ココイチの移動販売車を利用したカレーライス。トッピングに、ハンバーグ、ソーセージ、チーズの中から選んでもらった。カレーの他にcoco deチキン(フライドチキン)が一つサイドメニューとして付いた。

・生活棟への展示物…利用者の作品の他、写真を模造紙に貼り展示。

・レインボー、はなまる、プレイルームの大型テレビはスライドムービーを上映。

・14時から、プレイルームで各グループの発表会があり、竹太鼓、ダンス、どんちゃんの発表があった。

15 クリスマス会

①日時 平成25年12月25日 水曜日 10時～11時

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者69名 係長：堂西 係：今田・高森

司会者による「クリスマス会」の説明があり、利用者代表によるクリスマスツリーへの点灯。ビ

ンゴゲームより、1位のチームの方はサンタの衣装を着けて、プレゼントを皆さんに届けられました。その他にも二人羽織が披露され、皆さん楽しいひとときを過ごされた。

16 餅つき

①日時 平成25年12月28日 土曜日 10時～11時

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者 70名 係長：中岡 係：川本・林

司会者による「餅つき」の説明があり、餅つき開始。各グループから希望者の方の餅つきがあり、餅もみについては、出来る方を募り、エプロン、マスク、プラスチック手袋を使用して、職員と一緒に行っていただいた。お餅は、小さめの丸い平餅を約400個作ることが出来、午後ぜんざいとして利用者さんに出された。また、半分はとんど（1月16日 実施）の餅として厨房で保存された。

17 大掃除、ワックス掛け

①日時 平成25年12月30日 月曜日 午前9時30分～

②場所 ともえ学園

③内容 出勤職員全員 係長：穂登原 係：荒瀬・圓藤

- ・進行状況を把握するため、チェック表を今回より使用。はなまるは前掃除を行う
- ・学園内の大掃除とワックス掛けを作業順序（全トイレ・洗面所・ポリッシャー・モップ拭き取り
- ・自動洗浄機・水切りワイパー・吸水掃除機・水拭き・乾拭き・ワックス）に沿って実施された。

18 全体活動

①日時 平成25年12月30日 月曜日 9時10分～15時30分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者 39名 短期入所者 1名 係長：岩戸 係：藤井・堂西

生活場所の大掃除とワックス掛けが終了するまでの時間帯をセンターで過ごされた。午前は、カラオケ・DVD鑑賞、午後はセンター内のウォーキングをされた。

19 平成25年の年間報告

各部所より、部課長 親睦会－桑田 400字程度の報告文を提出

12月30日に前岡園長より、総括とともに全員へ周知 係長：高田部長

20 鍋会食（外泊期間中の在園者を対象）

①日時 平成26年1月3日 金曜日 11時～12時50分

②場所 食堂

③内容 利用者37名 係長：若床 係：竹間・山地

毎年、お正月の在園者を対象としたお鍋の提供。今年は「とまと鍋」でした。お鍋の最後にはチーズを入れて、リゾットとして食べられた。ゆっくり楽しみながら最後まで味わっていただけた。

21 職員年賀式

①日時 平成26年1月6日 月曜日 9時～9時5分

②場所 ともえ学園 職員室

③内容 職員24名 係長：高田部長

新年を祝い、係長による司会進行で朝礼を行う前に開催された。

前岡園長より年頭の挨拶、年男・年女3名による今年の抱負があり、健康と幸せを祈念し全員で乾杯した。

22 年賀式

①日時 平成26年1月6日 月曜日 10時10分～11時10分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者70名、短期利用者1名 係長：菅原 係：松本・藤井

スクリーン前のテーブルには生け花と鏡開きセットを設置し、その両脇には門松を設置。

年男、年女となる利用者の抱負並びにグループ毎の抱負、利用者さんによる獅子舞の披露もあり、新たな気持ちで一年のスタートとした。

23 とんど

①日時 平成26年1月16日 木曜日 10時30分～11時30分 /14時30～15時10分

②場所 駐車場裏空き地

③内容 利用者70名 係長：荒瀬 係：福永・岩戸

年男・年女の利用者さんにトーチを持って頂き、とんどに点火。一年間の無病息災を願った。

竹酒の御神酒も振る舞われ、午後からは餅を焼いておろし餅として間食に出された。

24 節分祭

①日時 平成26年2月3日 月曜日 13時40分～14時50分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者69名 係長：濱本 係：桑田・今田

節分祭の由来を説明。鬼に扮した利用者さん3名の登場、豆に見立てたボールを鬼の持つ箱に投げ入れるゲームを利用者さんと職員が一緒になって行い楽しんだ。童謡「まめまき」を合唱し、鬼と記念撮影して終了。

25 健康体操

①日時 平成26年2月9日 日曜日 13時50分～14時40分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者69名 係：若床、見土、中岡

専門の講師に健康体操を教えて頂いて、楽しみながら健康体操する事が出来た。

26 音楽祭

①日時 平成26年3月13日（木）10時～15時

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者70名 短期入所者名 係長：竹間 係：魚見、竹林

歌やダンス、バンド演奏（楽器演奏）等、午後からは、ホルン演奏者による、フレンチホルン・アルプホルンsolo演奏があった。

27 健康体操

①日時 平成26年3月29日 土曜日 13時50分～15時40分

②場所 療育センタープレイルーム

③内容 利用者66名 短期入所者1名 係：若床

専門の講師に健康体操を教えて頂いて、楽しみながら健康体操する事が出来た。

（宮崎静美）

6 対外行事

他施設や地域の方々との交流を図りながら、地域社会の理解を深める事を目的に実施。

1 園芸地域交流

①日時 平成25年 6 月22日 土曜日 9 時20分～12時20分

②場所 三次保健センター花壇

③内容 参加利用者 4 名 職員 3 名 係：圓藤、穂登原

保健センター花壇にて、みよし園芸福祉ネットワーク(ボランティア)の方と園芸作業を行った。
利用者紹介の後、てみや熊手などを使った清掃、花壇の草取り、茶話会等で交流が出来た。

2 広島県西部地区知的障害関係施設親善球技大会

①日時 平成25年 5 月19日 日曜日10時00分～15時30分

②場所 広島修道大学 グラウンド、体育館

③内容 参加利用者22名 職員10名 係長：掛川 係：魚見

参加競技内容は、卓球・フライングディスク・ゲート通しでしたが雨天の為ゲート通しの選手の方は急遽、室内でのフライングディスクに変更。その競技者の方は、後は観覧をした。フライングディスク(アキュラシー)では入賞された方が1名おられた。

3 2013障害者フライングディスク競技大会inみよし

①日時 平成25年 8 月 4 日 日曜日 10時00分～15時30分

②場所 みよし運動公園 みよしドーム

③内容 利用者15名 支援職員 6 名 係長：竹林

開会式は全員落ち着いて参加していた。競技中は問題なく行えた。昼食後より、約1時間ビンゴゲームに参加。大会後には公園内散策にしていたが、雨天となりバスでドライブをした。
アキュラシー 7メートル 20代：2位、3位 30代：1位、3位 40代：1位、2位、3位と表彰された。

4 第19回広島県知的障害者スポーツ大会(ボウリングの部) 2013ボウリンピックinひがしひろしま

①日時 平成25年12月 7 日 土曜日 10時00分～15時00分

②場所 賀茂ボール

③内容 利用者 4 名 支援職員 3 名 起案者：中岡

6名で1レーンを2回ゲーム、他施設の利用者の方と同席しての進行だった。皆さん楽しんで参加されていた。

(宮崎静美)

7 外泊

1 ゴールデンウィーク外泊

送迎日 送り… 4 月29日 月曜日 迎え… 5 月 5 日 日曜日

外泊者数39名(療育センター宿泊利用1名) 学園車両使用者数：送り26名・迎え26名

2 お盆外泊

送迎日 送り… 8 月10日 土曜日 迎え… 8 月17日 土曜日

外泊者数35名(療育センター宿泊利用1名) 学園車両使用者数：送り25名・迎え21名

3 お正月外泊

送迎日 送り…12月29日 日曜日 迎え…1月5日 日曜日

外泊者数35名（療育センター宿泊利用1名）学園車両使用者数：送り28名・迎え26名

4 まとめ

広島、福山、呉、大竹方面への送迎を実施。送迎車両をご利用されない方の外泊については、随時ご家族希望日に外泊を実施した。学園車両の利用数が年々減少しつつある。お盆外泊では貸し切りバスから学園車（マイクロバス）に変更し、お正月外泊では貸し切りバス中型から20人乗りの小型バスに車両変更。ご家族が高齢化傾向にあり、無理のない外泊となるよう話を聞きながら対応していきたい。

（宮崎静美）

8 医療

1. 利用者、職員の定期健診・生活習慣病予防健診、特定業務従事者の健康診断

利用者の口腔健診（子鹿医療療育センター歯科）の実施

2. 感染症対策の徹底を図り、周知させ、感染制御部門としての役割を果たした。

3. 衛生推進者としての役割として実態調査し、アルコール依存とニコチン依存について健康教育、労働衛生教育を行った。

4. 受診 三次市内の病院、診療所での定期・臨時・緊急受診 他広島市

1) 緊急的に治療を必要とする利用者の受診を優先した。

2) 疾病予防の観点から早期受診、早期治療、早期回復を目指した。

3) 内科、外科、精神科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、アレルギー科 など 特に高齢、重度化と生活習慣病対策を念頭に実施した。

4) 嘱託医 脳神経内科 子鹿医療療育センター 吉長元孝医師（週1回）

内科 医療法人 源仁会 箕岡内科医院 箕岡康明医師（2週間1回水曜日）

5) 歯科 子鹿医療療育センター歯科安井良一医師（毎週火曜日10時～12時）

5名ずつ 口腔健診と 日々の口腔ケアに基づく情報管理から計画的に受診

予防歯科を目標に口腔の健康に口腔健診を年1回の口腔健診を実施、予防的な事業に入ることができ、歯垢・歯石除去、義歯などの作製、全般的な口腔の健康について細部に亘るケアを可能とした。

5. 保健・医療・看護・福祉サービスに関する連携、継続ケア

1) 患者の権利（リスボン宣言）の認識と擁護と責任 延命医療、リビングウィル

について考え、実践する予定であることを提案した。将来的にも施設に於ける終末期医療が可能となる基盤ができた。

2) 健康管理票の更新 中間サマリー 紹介先への提出情報の作成と更新

利用者家族への年1回以上の提出

今と今後の人生への希望、思いと終末期医療に関する考えについての利用者の親等からの意見をもらった。

3) エビデンスに基づく精神科看護ケアの実践、精神科医療、治療に伴う看護の実践が可能となるよ

うにつとめた。

4) 具体的な看護介入の実施をして、日常生活(人生、命)の質の向上、改善を図った。

①バイタルサインのチェック 症状チェック 経過観察

②受診判断と受診 治療、処置の実施、周知

③与薬管理、医薬品管理、医療機器管理の実施

④個別リハビリテーション 運動、言語、術前・術後の対策、脳活性化プログラム
多飲水の教育指導プログラムと実施

⑤フットケア スキンケアの実施と評価の結果今後の対策の実施

⑥口腔の健康 口腔ケア 歯科受診 周知と実践についての共有と実施

⑦運動器の機能向上の実施 マシン等の活用についての提案と実施

⑧栄養改善に関する医療上の栄養評価のデータの共有

⑨閉じこもり予防 認知機能の低下予防 うつ予防対策

⑩難病対策 平成25年4月1日障害者の範囲に加えられたが、対象者には総合的に支援をしている。

⑪肝疾患対策 上記項目のB型肝炎対策から将来的に肝臓死亡率の低減を図るため方策をとる。ひ
ろしま肝疾患コーディネーターの定期的な研修の継続と役割完遂

⑫癌予防対策 検査等が普通に困難な状況の利用者に対する検査のありよう

⑬生活習慣病予防対策の徹底をはかるため受検後のフォローをした。

⑭感染症予防 日常清掃、特別清掃、除菌、消臭などの環境衛生、手段と方法を共有し、大きな感
染症の拡大はなかった。

⑮自閉症、精神遅滞、統合失調症、強度行動障害の必要な医療情報により専門的医療
必要な利用者のリストアップから医療領域での解決をはかるよう準備をした。

⑯利用者の生活習慣病予防対策は職員と同じ検査項目は難しいが、より近いものを医師に相談をし
てとった。

⑰排泄リハビリテーションの必要性は排泄障害「適切な排泄行為をしない(意識する、しないにか
かわらず)」利用者が多いため、リストアップをして対策準備をした。

⑱以上の必要項目のガイドラインの作成をし後に使えるものとするため準備をした

6. 自閉症、知的障害、精神疾患等を持つ利用者の医療・保健・看護・支援体制からサービス担当者会
議を通して利用者中心の質の高いサービスを提供するためのケアマネジメントの大切さを周知さ
せ、利用者を理解するためのアセスメントを作成した。8領域に分けて評価表に記載し、レーダ
ーチャートで実態を把握でき、計画に生かせるものとした。また、23項目のアセスメント、支援
計画書(1)(2)の記載方法を示し、日課、週間、月間スケジュールなどケアマネジメントの一連の実務方法と手順を示した。

7. その他

全国大会への報告として医療、保健、看護上から情報を提供し、サポートした。

(坂本宏子、田村裕子、櫻井永子)

9 栄養食生活

1 はじめに

衛生管理に留意しながら利用者の嗜好の尊重、旬の食材の利用や暦の行事食の取り入れによる季節感のあるメニューの提供、また多彩な強化磁気食器を使用し、個々に応じた細やかな配慮のある食事作りに努めた。

2 栄養量

生活活動強度は「やや低い」を用い、常食の目標量と実質摂取量は次の表のとおりであった。

	目標量	実質摂取量
エネルギー (k c a l)	2,300	2,321
たんぱく質 (g)	75.0	80.1
脂質 (g)	57.0	60.9
カルシウム (m g)	600	650
鉄 (m g)	7.5	11.4
ビタミンA (I U)	2,500	2,527
ビタミンB 1 (m g)	1.11	3.46
ビタミンB 2 (m g)	1.23	1.43
ビタミンC (m g)	100	163

3 栄養ケアマネジメントの実施

障害(児)者が自立して快適な日常生活を営み、尊厳ある自己実現をめざすためには、障害(児)者一人ひとりの栄養健康状態の維持や食生活の質の向上を図ることが不可欠であることから、個別の栄養健康状態に着目した栄養ケアマネジメントを実施し、3か月毎の再スクリーニング、モニタリングを行い栄養健康状態の維持や食生活の質の向上に努めた。

4 療養食

糖尿病食・肝臓病食・胃潰瘍食・脂質異常症食・痛風食・腎臓病食・貧血食を利用者の病状に応じて提供した。

5 食事形態

常食・ひと口刻み食・刻み食・ペースト食を利用者に応じて提供した。

6 誕生日お祝いメニュー

利用者の個々の嗜好を取り入れるため、誕生日にお祝いメニューを月別にはつぎのように提供した。

4月：「とんこつ味とんかつラーメン」「お好み焼き」「牛丼」「豆腐ハンバーグ」「ハンバーガー」「海鮮寿司丼」

5月：「かつ丼」「鰯(ぶり)照り焼き」「カレーライス」

6月：「カレーライス」「シーフードカレー」「焼き肉」「かつカレー」「ちゃんぽん麺」

7月：「カレーライス」「天ぷらうどん」「鶏肉空揚げ」「煮込みうどん」「ハンバーグ」「肉うどん」「中華丼」

8月：「ポークカレー」「チャーシュー麺」「かつカレー」「ハンバーグ」「とんかつ」「焼き肉風炒め」「親子丼」「中華そば」「ちゃんぽん麺」「焼きうどん」

9月：「肉うどん」「チャーシュー麺」「親子丼」「ミートグラタン」「ハンバーグ」

10月：「チキングラタン」「とんかつ」

11月：「ラーメン」「海鮮寿司丼」「ハンバーグ」「とんかつ」「ラーメン」「サンドイッチ」

「クリームシチュー」「かつカレー」「おでん」「ポークカレーカレー」「ハンバーグ」
「かつカレー」

12月：「カレーライス」「鶏肉炊き込みご飯」「かつ丼」「かつカレー」

1月：「海鮮寿司」「牛丼」「刺身盛り合わせ」「かつカレー」「焼き肉風野菜炒め」「チャーシュー麺」

2月：「かつカレー」「ナポリタンスパゲティ」「チキンかつ」「ハンバーグ」「照り焼きチキン」「かつカレー」「かつ丼」「ハンバーグ」

3月：「さんまおろし煮」「醤油チャーシュー麺」

7 間食

間食は、全グループ統一して午後に提供した。

月1回の月例会には、学園で収穫した野菜等を使用して手作り間食を提供した。

4月：「いちごババロア」

5月：「フルーツサンドイッチ」

6月：「サイダー割梅酒ゼリー」

7月：「ずんだ餅」

8月：「ミルクゼリー」

9月：「南瓜ケーキ」

10月：「スイートポテト」

11月：「人参蒸しパン」

12月：「ポテトチップス」

1月：「パンプディング」

2月：「りんご入り米粉焼き菓子」

3月：「プリン」

8 正月料理

元旦昼食に雑煮、そしてお節料理を正月三が日提供した。

今年度も「鍋料理」を提供し、鍋を囲みながら普段とは違った形式で、穏やかな雰囲気の中でゆっくりと食べて頂くことが出来た。

9 シャリ弁ロボ、リヒートウオーマーキャビネットの導入

4月にシャリ弁ロボを導入し、個別の適切な量をスムーズに提供した。

11月からリヒートウオーマーキャビネットを使用して、朝食に温かい味噌汁に加え、温かい副食も提供できるようになった。そして、2月から開始の昼食の随時食事にも副食、汁物を保温し、温かい食事を提供した。

(後田喜代子、岡下チエミ、山縣圭子、田原恵里、松本和幸、山下英明、奥田崇喜)

10 事務

1 目標

①事務の正確かつ迅速な処理を行い、学園内外の連絡調整を緊密にし円滑化する。

②外来者に対して常に明るく笑顔で接し、適切且つ迅速な応対に心がける。

- ③電話対応では明確な応対に心がけ、速やかにかつ丁寧に対処する。
- ④必要な情報の共有と公開を積極的に行い、円滑な事業の推進に寄与する。
- ⑤OA機器の活用を推進し、業務省力化を図る。

2 内容

①事務

- ・ 支援費の請求、窓口での受付、入退所手続き、療育手帳・保険証・重度障害者医療受給者証・自立支援医療受給者証の管理、各種印刷物の作成、行政機関との連絡調整、その他

②庶務

- ・ 文書收受・発送、福利厚生、パソコン・プリンター・コードレスホンの管理、その他

③経理

- ・ 財務会計処理、利用料等の請求、親の会会計、親睦会の会計、物品購入、職員給与計算、調査統計、出張命令稟議書の作成、その他

3 まとめ

上記の業務については社会福祉法人ともえ会の諸規程、ともえ学園内規を基本として日々行った。これからも原理原則を基本に、利用者、利用者家族、職員に信頼され、厳正でかつ平等に日々遅滞なく確実に遂行していきたい。

(高田孝康・加藤真由美)

11 午前日課活動

1 目的

- ・ 個々に合った活動を取り入れることにより張りのある生活へ繋げる。
- ・ 達成感や楽しみを感じてもらえるように活動の内容を工夫する。
- ・ 天候不良時はマシーンや用具を使用し機能維持の運動を繰り返す。

2 内容

◇リサイクルクラブ13名

- ・ トライアングルグループ1名きのこクラブへ異動。(8月)
- ・ はなまるグループ1名骨折、1名手術の為、いきいきクラブへ変更(1月)
- ・ アルミの空き缶を潰し、量がまとまると業者へ売却(月1回売却)
- ・ 古新聞、ダンボールの回収整理し、量がまとまると業者へ売却(年間4回売却)

集合場所：センタースロープ1F踊り場

◇きのこクラブ21名

- ・ レインボーグループ1名骨折の為、いきいきクラブへ変更(6月)
- ・ しいたけ栽培～ホダ木の伏せ込み、水槽浸け・ホダ場の整理
- ・ 単管の運搬
- ・ 落ち葉集め、遊歩道の整備

集合場所：センタープレイルーム

◇環境クラブ16名

- ・ トライアングルグループ1名骨折の為、いきいきクラブへ移動(11月)

- ・レインボーグループ1名手術の為、いきいきクラブへ移動（1月）
- ・新しい取り組みとして生活棟内の窓ふき・ワイパー（毎週水曜日と雨天時）
- ・FOXまでの草集め

集合場所：センター大作業室

◇園芸クラブ4名

- ・花の苗栽培・畑作り・グリーンカーテン

集合場所：多目的室

◇クリーンクラブ9名

- ・掃除～生活棟、管理棟と療育センターの掃除
- ・衣類たたみ～洗濯済み衣類をたたんで仕分ける
- ・軍手洗い～活動後の軍手を洗濯し次の日の活動時に干す

集合場所：食堂前

◇いきいきクラブ5名

- ・骨折や手術があり4名の移動があった。
- ・医務からの機能訓練プログラム・ウォーキング・用具使用のストレッチ

集合場所：生活棟レインボーリビング

3 まとめ

きのこクラブは単管での伏せ込みに変更した為、利用者さんでも行えるようになった。活動中は怪我などなく、行うことができた。来年度は生椎茸の販売ルートの確立と確実な収穫を行う。環境クラブは新しい取り組みとして生活棟の窓ふきやワイパー作業を行った。難しい人もいたが、作業として行うことができたと思う。

園芸クラブは職員1名に対して利用者4名で作業を行った。利用者さんが手伝える内容が少なく、職員の活動になっているので利用者さんに活動を教えることも来年度の目標にしていく。利用者さんの人選を検討していく。

いきいきクラブは怪我で利用者さんが4名移動して来たことに対応できていなかった。看護との連携が取れて無く、活動に参加できていない利用者さんもいた。増えてくることを想定して職員の配置やプログラムの変更を随時行っていく。

クリーンクラブの洗濯班は決められた作業を自分で確実にこなす方が多だったが掃除班は遅刻して来る人や黙って休む人もいた。

リサイクルクラブは缶つぶし器を使用するので年間に2個程度、壊れることがあった。随時、交換を行った。缶つぶし器や一升瓶で他の利用者さんの頭を叩くことがあった。随時、検討を行い見守りも強化し現在は他傷行為は見られていない。作業へ行く前に凍ったアスファルトで転倒して骨折した利用者が出た。

来年度は怪我無く、作業が行えるように安全対策や環境整備、就労へ向けてのプログラムを作成したい。また、日誌の記入漏れが多かったので日誌の変更、雨天時にできる作業を検討して行く。平日の午前の日課を預かるにあたって安全で内容の濃い活動をして頂きたいが、1つの活動を見ることで手一杯のところがあり、目が行き届かない部分が多いように感じた。6つの活動があるなら6人の職員配置をお願いしたい。

（福永真也、岩戸洋三、高場修治）

12 入浴洗濯

1 取り組み

- ・利用者が安全で安心して使用できる浴室の環境整備や洗濯室全般の管理を行った。

2 内容

- ・シャンプー、ボディソープ、洗濯洗剤、柔軟剤、ソフランシート、バスマジックリン、酸素系漂白剤、汚物洗濯機用洗剤類等の資材が不足しないよう点検、補充、管理を行った。
- ・毎週日曜日の午前中は、早出職員が洗濯物畳みの後、洗濯室内の清掃を行った。
- ・入浴支援担当表を作成しスムーズな職員配置を組んだ。勤務変更があった場合は随時変更した。病院などの受診など急な職員不足にも対応出来た。
- ・体調不良の個室対応の利用者がいた場合、入浴時間の変更を行い感染防止に努めた。
- ・水虫などの感染防止、及び薬の塗布により床に付着した薬で滑る事が発生し、転倒を防止する事も考え、アルコール除菌剤を購入。薬塗布する職員がそれらを使用し床を何度も清掃する事で転倒事故を防いだ。
- ・バスタオル、洗体用タオル、職員用タオルを更新した。古いバスタオルは床拭き専用雑巾として、職員用タオルは雑巾として再利用した。

3 経過・課題課題

- ・前年度、必要な物をかなり購入してもらっており、継続している状態であった。新たに購入する物も特にはなかった。
- ・入浴支援では、勤務変更やレインボーとトライアングルの早出職員が増えた事で、入浴支援表を組む事が難しい事があったが、全体で協力してもらい、何とか利用者には混乱は少なく入浴してもらえたかと思う。
- ・洗剤等の発注では、ボディーソープが足りなかったり、洗濯用洗剤がギリギリだったりと言う事があり、迷惑を掛けてしまったので、安心して使用出来るように、気を配る事が課題と思う。
- ・3グループの課題として、入浴時間と薬付けの時間のスムーズな支援となるよう、支援員の交代など、声を掛け合い協力して行わなければいけないと思う。
- ・係としては、3人で報告・連絡・相談をその都度行い、調整等は出来ていたように思う。

(堂西美保、今田弘之、藤井秀樹)

13 寝具

1 内容

- ・毎週火曜日までに寝具の発注用紙を記入。
- ・火曜日に寝具の搬入があり、その後リネンの係りが在庫の確認を行い調整をする。
- ・各グループへの在庫枚数の確認をし、リネン庫入口より左の棚に置く。
- ・在庫を確実にする為に在庫は最低限にする。リネン台帳を作りリネン室に置く。
- ・布団やシーツを汚した利用者についてはリネン台帳に名前を記入し、シーツを持ち出す。
- ・定期的にリネン庫の掃除を行う。
- ・不潔リネン室に、業者より麻袋を置いてもらい土曜日に麻袋にて回収してもらう。
- ・血液・便の付着した掛・敷布団・毛布は洗わずに小さく丸めて1枚ずつナイロン袋に入れて出

し、回収してもらう。便の付いた物については便が付いていることを紙に書き、業者に分かるようにナイロン袋に入れておく。

- ・感染症に関わる汚染物が付着している場合、黒色のナイロン袋に入れ袋に詳細を記入する。
- ・破れた寝具を返却する際には専用用紙に記入する。
- ・7月に掛け布団から毛布に変更。
- ・10月に毛布から掛け布団に変更。
- ・定期的に使用している寝具を取り替える。

2 反省

- ・適切に在庫確認やリネン庫の整理は出来ていた。
- ・洗濯後のシーツの片付けも洗濯室に溜まることもなく業者に回収してもらう事が出来た。
- ・今年度はノロウイルスが発生する事も無く、業者へ回収してもらう事が出来た。
- ・発注伝票の忘れがあったが、月曜日までには確実に在庫を確認することにより、発注数量は適切にできた。
- ・使用済みの毛布や布団を整理するために仕切りを設けると、より衛生的に管理できる。

(圓藤久明、山地恵子、松本真弥)

14 営繕

1 目的

- ・依頼があれば、迅速、安く、丁寧に対応する。
- ・生活しやすい環境を整え整理整頓する。

2 実施内容

- | | | |
|-----|-----------------------|------------------------------|
| 4月 | トライアングルトイレ（2ヶ所）壁紙貼り替え | トライアングルリビング前廊下の壁修理 |
| | 502、503号室窓下の床修理 | 505号室たたみ止め |
| | 507号室鍵修理 | |
| | 508号室ベッド下ベニヤ貼り | はなまるファックス台作り |
| | | 池周りの歩行対策 |
| 5月 | 食堂移動テーブルの改造 | 704号室タンス修理 |
| | | 711号室壁穴の修理 |
| 6月 | 食堂移動テーブルの改造 | はなまる7通りトイレ内物置の台作り |
| | | センター横の畑除草 |
| | レインボー壁補修2箇所 | レインボー手指乾燥機移設 |
| 7月 | 草刈り（遊歩道） | はなまる職員室のレターケースのキャスター取付 |
| | 食堂移動テーブルの改造 | レインボーリビングのテレビ台下の隙間をコーキング |
| | レインボー倉庫ドアの修理 | センター宿泊室椅子の座外れ修理 |
| 8月 | センターのロッカー、机などの撤去 | トライアングル壁補修3箇所 |
| 9月 | センター屋根の掃除 | 脱衣室のカビ取り |
| | 食堂移動テーブル改造 | 711号室壁穴の修理 |
| | レインボー洗面室壁穴修理 | レインボー倉庫片付け |
| 10月 | 管理棟（職員室）屋根の清掃 | 711号室壁穴の修理 |
| | トライアングルリビング前壁の修理 | |
| | 201号室壁紙貼り替え | 静養室ドアクローザー交換 |
| | 408号室前廊下壁紙貼り替え | |
| | 508号室ベッド下部穴修理 | |
| 11月 | リビング前廊下の壁補修 | 201号室の壁紙貼り付け |
| | 408号室前廊下の壁補修 | |
| | 508号室ベッド下部穴修理 | レインボートイレ2箇所と洗面室のモップ掛けフック取り付け |

- レインボー 洗面室壁修理 レインボー倉庫片付け 食堂横の壁修理
脱衣室のカビ取り
- 12月 日勤駐車場裏の絨毯整備 多目的棟の樋の掃除 女性棟の壁修理
105号室ドアクローザー交換 食堂前廊下のコンセント周辺の壁修理 201号室壁の修理
401、503号室ベッド下修理 レインボーシャワー室掛け治具 レインボー庭基準だし
- 1月 とんどの手伝い プレイルームのストーブの柵確認 食堂移動テーブル修理
レインボートイレ床黄ばみ取り（2ヶ所） はなまるリビングのソファ修理
脱衣室横の廊下の壁修理 503号室ベッドのコーティング レインボー倉庫整理、棚付け
- 2月 営繕室灯油置き場の確保 レインボー洗面室壁修理 レインボーテレビ台下戸棚の修理
電気配線のマンホール（お宮付近）内の排水とマンホールのシーム 女性棟廊下壁修理
305、311号室ドアの鍵修理、サッシ尿石落とし 障害者トイレの壁紙直し
- 3月 食堂移動テーブルの改造 408号室居室前の廊下の壁紙貼り替え
512号室居室内壁紙貼り替え レインボー職員室ドア穴塞ぎ
505号室ドア穴塞ぎ（2ヶ所） 405号室居室内穴塞ぎ（2ヶ所） 女性棟壁修理

3 まとめ

- ・草刈りを午前日課で全て対応することになったため整理整頓、修理などに集中して作業することが出来るようになった。
- ・営繕依頼書を作成することでやるべき作業を把握し優先順位を決めることで時間を有効に使うことが出来るようになった。
- ・部材、部品、など足りないものもあるため作業に時間を取られる場合も少なくない。物品の確認を行い補充できるものはしておく。

（藤井秀樹、竹間和輝、中野基行）

15 親の会

1 概要

- ・ともえ学園入所者のご家族で組織されたものが「ともえ親の会」であり、事務局は親の会係として職員が担当しており、以下親の会の活動を紹介する。

2 事業

1) 定例総会の開催

平成25年5月26日（日）於：ともえ学園療育センター 45家族、62名参加

2) 役員会の開催

- 1回目 平成25年5月26日（日）於：ともえ学園療育センター
- 2回目 平成25年7月6日（日）於：ともえ学園療育センター
- 3回目 平成25年7月21日（日）於：ともえ学園療育センター
- 4回目 平成25年9月21日（日）於：ともえ学園療育センター
- 5回目 平成25年11月24日（土）於：ともえ学園療育センター
- 6回目 平成25年12月15日（土）於：JR広島駅北口2階 味庵

3) 福利厚生…香典、弔慰金、生花、傷病見舞金、餞別の贈呈。

- 4) A I U 損害賠償保険への加入継続。損害賠償金の支払い。
- 5) 入院時の付添看護料について。
- 6) A S J 互助会加入について
- 7) 平成26年度河内ふれあい祭りバザーの取り止めについて
- 8) 親善球技大会 平成25年5月18日（広島修道大学 体育館…雨天の為）
- 9) 茶話会と演奏会の開催…平成25年7月6日（日）於：ともえ学園療育センター
「茶話会とアコーディオンによる演奏会」 45家族、61名参加
- 10) 研修会と発表会の開催…平成25年11月24日（日）於：ともえ学園療育センター
「介護予防体操と利用者発表会」 47家族、65名参加
- 11) 例会の開催
平成25年7月21日（日）於：ともえ学園療育センター 48家族、68名参加
- 12) お楽しみ会の開催
平成25年7月21日（日）於：ともえ学園療育センター 48家族、68名参加
- 13) 河内ふれあい祭り… 平成25年11月3日（日）於：河内小学校
「リサイクルバザー」の実施。前日準備。ご家族6名参加 売上額39,510円
- 14) 外泊の受け入れ、援助
◇平成25年 4月29日（月） ～ 平成25年5月5日（日）
◇平成25年 8月10日（土） ～ 平成25年8月17日（土）
◇平成25年 12月29日（日） ～ 平成26年1月5日（日）
- 15) グループレクリエーションへの参加
◇レインボー 平成25年10月12日（土）17家族、29名参加
◇トライアングル 平成25年10月13日（日）14家族、20名参加
◇はなまる 平成25年10月14日（月）18家族、26名参加

3 感想・今後の課題

- ・今年度は例年とは違い、親の会の行事では美化作業を中止し演奏者や講師の方を呼んでアコーディオン演奏会や健康体操を行った。
- ・利用者発表会を行い、利用者の方の普段の取り組みを御家族の方に見て頂く事が出来た。
- ・多目的棟など外で行っていたお楽しみ会を療育センター内に変更した。賛否両論あったが、7月の暑い日だった為、良かったと思う。
- ・リサイクルバザーは御家族の方の負担が多い為、今年度で中止となった。
- ・グループレクリエーションは各グループとも好評だった。
- ・今年度から利用者の方、御家族の方の意見や年齢の変化に伴い、変更になった行事が多かったが、新しい行事をみなさん楽しんでいたように思う。

（掛川陽介、濱本 豊、見土 唯）

16 食生活

1 目的

- ・食堂の環境整備、清掃、備品の管理をおこない、毎日の食事を美味しく気持ちよくいただける

快適な空間と支援を提供するため企画検討実施する。

2 内容

- ・各グループで必要に応じて利用者の席の変更を行った。
- ・席の変更等があった場合、机の座席表シールを交換した。
- ・手消毒用のジェスパやシャボネット、ウエス、床拭き取り布の補充を行った。
- ・ボランティアに依頼し食堂用テーブル台拭きを縫ってもらった。
- ・毎週日曜日に各グループより一名ずつ集まり、掃除箇所が前回と重ならない様に指示を出し、効率的に食堂の汚れている箇所を清掃した。
- ・食堂掃除の道具を購入し、効率の良い掃除を行えた。
- ・エプロンの破損があった場合、エプロンを修理及び新しく更新した。
- ・首から下げるタイプのナプキン入れを更新した。
- ・食事の際に箸の他にスプーンやフォークが必要な方を記載した、スプーン、コップ配置表を更新した。
- ・夏場に蟻が食堂内に侵入する事があり、蟻の巣コロリを設置し駆除した。
- ・ゴミ箱を利用者が無理に開け破損した。修理して現在使用中。

3 課題・まとめ

- ・消耗品の補充や座席表シールの貼り替えが遅れる時があった。
- ・利用者の食事場所の変更や配膳や下膳方法、食事時間変更などがあったが利用者の方もスムーズに受け入れてもらえた。
- ・その他の食事に関するマニュアルや備品についての改善が、来年度の課題となった。

(中岡健太郎、若床まゆみ、川本亜由美)

17 実習

1 目的

自閉症や知的に障害がある方たちに対して、支援方法や人権尊重をふまえた理念を実習生に伝え、福祉専門職に就くために必要な技能と知識の一端を学んでもらう。

2 受け入れ状況

- ・平成25年7月1日～14日（内12日間）→トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校保育実習 3名
- ・平成25年2月17日～26日（10日間）→中国学園大学保育実習 2名

3 まとめ

- ・事前の施設訪問を行い、施設・利用者の特徴などを説明し施設見学を行った。また、自閉症に関して説明してあるDVDを貸し出し事前学習をしてもらい実習に入る前に理解を深めてもらった。また、実習終了後にDVDを見た感想と「実習を終えて」との題で感想を提出してもらった。
- ・2回の実習とも自宅から通えない学生であった為、療育センター宿泊室に宿泊してもらった。
- ・実習日誌については7月の実習では翌日も勤務する職員に担当してもらい、スピーディーに書き込みのできるよう配慮したが、全体的に書き込みが遅くなる結果となった為、2月の実習では今まで通り、当日のリーダーに担当してもらった。その結果、比較的スピーディーに書き込みが終

了した。

4 今後の課題

- ・実習生個々の問題かとも思うが、実習に入るにあたっては事前に実習中の注意事項や取り組み姿勢等の説明を行ってはいたが、殆ど活かされていないケースもあった。今後は一日一回、短時間でも当日の担当者とのミーティングの時間を設定し、日々の実習について密な打合せを行う必要性を感じた。
- ・療育センター宿直室で宿泊する場合は、ボランティアの日と重なることを避けるため、係間での連絡を要する。

(高場修治、圓藤久明、竹林祐樹)

18 ともえ通信

1 概要

- ・ともえ通信の編集発行と、平成24年度の事業報告書の編集発行。
- ・ともえ通信は毎月1日に印刷。ご家族、理事、評議員に配布し、同時にホームページに掲載。

2 毎月の記事

◇5月1日発行 第301号	①4月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー ④花まつり ⑤5月の予定 ⑥編集後記
◇6月1日発行 第302号	①5月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー ④母の日感謝祭 ⑤6月の予定 ⑥人事異動のお知らせ ⑦編集後記
◇7月1日発行 第303号	①6月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー ④父の日感謝祭 ⑤7月の予定 ⑥編集後記
◇8月1日発行 第304号	①7月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー ②七夕祭り ⑤8月の予定 ⑥人事異動のお知らせ ⑧編集後記
◇9月1日発行 第305号	①8月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー ④物故者追悼式 ⑤9月の予定 ⑥職員についてのお知らせ ⑦編集後記
◇10月1日発行 第306号	①9月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー ④スポレク祭 ⑤10月の予定 ⑥人事異動のお知らせ ⑦新任職員自己紹介 ⑧編集後記
◇11月1日発行 第307号	①10月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー ④収穫祭 ⑤11月の予定 ⑥編集後記
◇12月1日発行 第308号	①11月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー ④文化祭 ⑤12月の予定 ⑥編集後記
◇1月1日発行 第309号	①12月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー ④ボウリンピック2013 ⑤新年の挨拶 ⑥1月の予定 ⑦人事異動のお知らせ ⑧編集後記

- ◇ 2月1日発行 第310号 ①1月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④年賀式 ⑤とんど ⑥2月の予定 ⑦新任職員自己紹介
⑧編集後記
- ◇ 3月1日発行 第311号 ①2月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④節分祭 ⑤3月の予定 ⑥編集後記
- ◇ 4月1日発行 第312号 ①3月の様子 ②各グループの出来事 ③一品メニュー
④音楽祭 ⑤4月の予定 ⑥人事異動のお知らせ
⑦編集後記

(荒瀬好司、魚見敏満、藤 頼久)

19 研修

1 職員研修会

①目的

研修の機会の提供・利用者支援技術の向上

障害者に対する人権意識、福祉に携わる人の心得を認識するため

②内容

- ・ 5月25日(土) 18:10～20:00 職員室 参加者22名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
前半：テーマ：「人と関わる際の心得」
後半：「自閉症を含む行動障害学習会」での事例発表の予演会
- ・ 6月22日(土) 18:10～20:00 職員室 参加18名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
前半：テーマ：「障害者との関わりについて」「アスペルガー症候群について」
後半：ケース研究：「自閉症を含む行動障害学習会」での事例発表の報告会
- ・ 8月23日(火) 18:10～20:00 センタープレイルーム 参加者 25名
講師：三次消防署職員 3名
テーマ：「救命救急について」(心肺蘇生法の学習、AEDの使い方)
- ・ 8月31日(土) 18:10～20:00 職員室 参加者12名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
前半：テーマ：「障害者福祉の基本理念」「障害者の生活とニーズ」について
後半：「発達障害の理解と支援のエピソード」のDVD鑑賞と意見交流
- ・ 9月28日(土) 18:10～20:00 職員室 参加者 22名
講師：安田女子大学教授 船津守久氏
前半：テーマ：「福祉業界に求められる人材はどのような人材か、プロとして果たすべき責任」
後半：食事の拘りを持つ利用者さんの動画鑑賞と意見交流
- ・ 10月18日(金) 18:10～20:00 職員室 参加人数 19人
講師：堀中嶽水先生、石井千恵先生

テーマ：マナー&コミュニケーション研修～人に好かれる接遇・人間関係

- ・10月26日(土) 18:10～20:00 センタープレイルーム 参加者18名

講師：安田女子大学教授 船津守久氏

前半：テーマ：「福祉業界に求められる人材はどのような人材か、プロとして果たすべき責任」職場のサービスレベルチェックリストの確認

後半：全国自閉症者施設協議会大阪大会 第5分科会・

テーマ「高齢化に伴う支援とこれからのカタチ」

- ・演題「高齢期に差し掛かる利用者支援」発表予演会

- ・11月23日(土) 18:10～20:00センタープレイルーム 参加者22名

講師：安田女子大学教授 船津守久氏

前半：テーマ：「福祉業界に求められる人材はどのような人材か、プロとして果たすべき責任」

後半：全国自閉症者施設協議会大阪大会 第5分科会

テーマ「高齢化に伴う支援とこれからのカタチ」

演題「高齢期に差し掛かる利用者支援」発表報告会

- ・2月22日(土)18:10～20:00 職員室 参加者17名

講師：安田女子大学教授 船津守久氏

前半：テーマ：「自閉症施設での取り組み」について研究論文の紹介

後半：一年の反省と来年度研修会でやってみたいこと、取り入れたいことや必要だと思うことなどの意見交流。

2 新任職員のビデオによる研修

①目 的

- ・自閉症の方に対する共通認識を持ち理解を深める
- ・障害だけでなく、1人の人としてその尊厳を見つめる事が出来るようになるために、自閉症の理解を深める

②内 容

- ・4名の新任支援職員、看護職員、調理職員を対象に「自閉症者の自己実現を目指して」と、「自閉症の子どもたち～バリアフリーを目指して」「青年期・成人期のプログラム」「国立のぞみ園」の4本のDVDについて感想を提出してもらった。

3 新任職員研修

- ①・期 間：平成25年6月3日月曜日～6月5日水曜日

- ・対象職員 新任職員 松本真弥(生活支援)

- ・場 所：園長室、職員室

【ヒアリング】1週間程度 時間：業務終了前の10分程度、サポート職員一高場

【研 修】6月3日 月曜日 10時00分～11時00分 ともえ学園の運営方針

11時05分～12時00分 パソコンの取扱他

13時30分～14時30分 事務部

16時10分～17時00分 防災、緊急時の対応

17時05分～17時30分 消防設備の見学

6月4日 火曜日 16時10分～17時00分 知的障害、自閉症他

- | | | |
|----------|---------------|---------|
| | 17時00分～17時50分 | 利用者処遇関係 |
| 6月5日 水曜日 | 9時30分～12時00分 | 看護部 |
| | 13時40分～14時10分 | 栄養課 |
- ②・期 間：平成25年8月2日金曜日～8月5日月曜日
- ・対象者：新任職員 砂川尚希(調理)
 - ・場 所：園長室・職員室・医務室・栄養室
- 【ヒアリング】1週間程度 時間：業務終了前の10分程度、サポート職員一山縣
- 【研 修】8月2日 金曜日 13時00分～14時00分 ともえ学園の運営方針
- 14時05分～15時00分 事務、パソコンの取扱
- 15時20分～15時50分 防災、緊急時の対応
- 15時50分～16時15分 消防設備の見学
- 16時15分～17時10分 知的障害、自閉症他
- 8月5日 月曜日 9時20分～栄養課 16時00分～看護部
- ③・期 間：平成25年9月18日水曜日～9月20日金曜日
- ・対象者：異動職員 櫻井永子(看護)
 - ・場 所：園長室・職員室・医務室・栄養室
- 【ヒアリング】対応一坂本看護部長
- 【研 修】9月18日 水曜日 9時45分～11時10分 ともえ学園の運営方針
- 14時00分～15時00分 事務、パソコンの取扱
- 15時10分～15時50分 防災、緊急時の対応
- 15時50分～16時30分 消防設備の見学他
- 16時15分～17時10分 知的障害、自閉症他
- 9月19日 木曜日 栄養課
- 9月20日 金曜日 看護部
- ④期 間：平成26年1月3日金曜日～1月5日日曜日
- ・対象者：新任職員 奥田崇喜(調理)
 - ・場 所：園長室・職員室・医務室・栄養室
- 【ヒアリング】1週間程度 時間：業務終了前の10分程度、サポート職員一山縣
- 【研 修】1月3日 金曜日 9時30分～10時30分 知的障害、自閉症他
- 10時40分～11時30分 防災について
- 11時30分～12時00分 施設見学・消防設備の見学
- 1月4日 土曜日 13時30分～14時30分 ともえ学園の運営方針
- 14時40分～15時40分 看護部
- 15時40分～16時40分 事務、パソコンの取り扱い
- 1月5日 日曜日 栄養課
- (若床まゆみ、見土 唯、中岡健太郎)

20 ボランティア

1 概要

ボランティアグループ三次の皆様のご協力により、衣類補修、台拭き縫い、アイロン掛け、顔拭きタオル縫い、雑巾の作成をして頂いた。

2 施設見学

初めて来園された方や希望された方には施設を見学をして頂き、利用者さんが生活されている様子などを見て頂いた。分かりやすいように配置図や学園の要覧などを渡した。

2月よりボランティアに来園された方々の承諾を得て、写真をフェイスブックに搭載させて頂いた。

3 作業

作業に不足している物があれば来園された時に聞きながら補充を行った。

ミシンは作業前に確認し直ぐに作業が取り掛かれるようにした。

コードレス電話を置き使い方の説明をし、不具合や困った事などはすぐに電話で知らせてもらうようにしたところスムーズに終える事が出来た。

アイロンが一台しか無く作業が手間取った。アイロン台も購入を検討する必要がある。

4 アンケート

今後の対応を向上させるためにアンケートに回答して頂いた。

2月より、一人に1枚アンケートをお願いしていた所を、来園者の皆様で話し合って1枚に回答していただくように変更した。

5 受け入れ状況

- ・ 4月22日 青河地区 5名 見学なし
- ・ 6月24日 青河地区 5名 見学なし
- ・ 7月22日 川西地区 4名 見学なし
- ・ 11月28日 田幸地区 4名 見学あり
- ・ 11月25日 十日市地区 6名 見学なし
- ・ 1月27日 十日市地区 5名 見学なし
- ・ 2月24日 河内地区 4名 見学なし
- ・ 3月24日 神杉地区 3名 見学あり

(桑田樹実、今田弘之、藤 頼久)

21 あいさつ運動

1 目標

笑顔を忘れず、レベル5のあいさつを意識し、お互いが気持ちの良い職場作りをする。

2 実施内容

①職員間の挨拶を積極的に行う。

- ・過去に上げてきた目標を今後も引き続いて行う。
- ・昨年に持続して、司会者に朝礼時と施設見学時にタスキと腕章を付けてもらい、職員や各グループの利用者に率先して挨拶を行ってもらう。

準備物として、タスキ、腕章

- ・「笑顔で」「元気にはっきりと」その日の出勤者・利用者に挨拶する。
- ② 職員室の掲示板に「あいさつ運動」のポスターを貼る。
- ・2ヶ月に一度、係員が交替で作成し貼り替える。(テーマは係で話し合い検討。)
- ・自由に個性を生かし、標語や絵などのポスターを貼る。

(7月：松本、9月：山地、11月：山縣、1月：林、3月：山地)

- ③ レベル5のあいさつが達成出来ている職員に表彰状と記念品を贈呈する。

- ・レベル表を分かり易く作成し、各グループへ配布する。

各グループで、分かり易い場所に掲示してもらう。(各グループ、挨拶運動係)

挨拶レベルの段階

レベル1. 挨拶しない	何もしない
レベル2. 声は出さずに挨拶をする(お辞儀・会釈程度)	動作
レベル3. 声を出して挨拶し、お辞儀・会釈する	声+動作
レベル4. 笑顔で、声を出して挨拶し、お辞儀・会釈する	笑顔+声+動作
レベル5. 視線を合わせ、笑顔で、声を出して挨拶し、お辞儀・会釈する	視線+笑顔+声+動作

- ・全職員がレベル5を達成するための啓発において、挨拶の根源並び理念を掲示板で説明を行った。
- ・挨拶係りの職員が朝礼時に出勤している時には、朝礼で啓発をおこなった。
- ・投票用紙を配布し、達成していると思う職員全てに印をつけて、無記名で投票箱に投票してもらった。過半数の職員から認定された人を表彰。
- ・投票結果…投票者数 26名
藤田課長16票、山縣さん16票、宮崎支援部長15票 加藤さん15票、
川本さん14票、山地さん14票 上川さん13票 若床さん13票
*認定書と粗品(ボールペン)を進呈。

3 反省

- ・社会人として挨拶は、基本だと思うので、レベル5のあいさつをするという意識が高まるような、取り組みは大切だと思った。
- ・あいさつ係りの稟議書での予定では、9月と3月に行う予定だった。期間を設けて運動の啓発を早くから行わなかった。10月に昨年度の様式で、計画書を作成したが、新たに稟議書がいるということで、作成し直すことに時間を掛けてしまった。担当課長と共に事前の協議を行っていたが、早めの対応を怠る。それに伴い準備が進まず、計画よりかなり遅くなってしまい、12月に実施となってしまった。計画、実行を迅速に行う。
- ・挨拶レベル5の職員を選出してもらう事で自分がどんな挨拶をしているのかを振り返るのに再認識になったと思う。

(林 宏典 山地恵子 山縣圭子 松本真弥)

22 ゴミゼロ運動

1 目的

- ・施設内外を清潔に保ち職員全体で住みやすい環境を整える。

2 取り組み

①清掃活動

- ・年間の清掃場所と係員を決め清掃活動を行った。
- ・毎月第4土曜日（12月のみ第3土曜日）の15:30から15分間を清掃活動とした。
- ・事前に場所と内容、参加者名を掲示番にて周知した。

参加者（各グループから1名、事務所・厨房・看護から1名、ゴミゼロ運動係1名の5名）

掃除箇所

4月27日	学園正面玄関清掃	5月25日	管理棟職員室清掃	6月22日	ゴミ倉庫内清掃
7月27日	療育センター玄関清掃	8月24日	男性更衣室清掃	9月28日	女性更衣室清掃
10月26日	食堂外側窓清掃	11月23日	学園正面玄関清掃	12月21日	管理棟職員室清掃
1月25日	管理棟宿直室清掃	2月22日	男性更衣室清掃	3月22日	女性更衣室清掃

②ゴミゼロ啓発活動

- ・ゴミゼロ係が標語を作り各部署に提示した

3 まとめ

- ・日頃掃除が出来ない場所などが清掃出来るので良い活動だと思う。
- ・15分間の短い時間の中で、効率よく作業を行うために事前に準備物をそろえ、参加者も自分の役割を把握する事に努める事が出来た。
- ・ゴミゼロ啓発活動の標語の掲示は目にとまる事で意識してもらうように行ったが、実際にはあまり必要性を感じなかった部分もあると感じた。

（菅原献司、福永真也、川本亜由美、奥田崇喜）

23 掲示物

1 内容

- ・ホワイトボード（管理棟会議室）に掲示物を掲示し、明瞭で清潔感のあるコーナーを継続できた。
- ・掲示する方法も統一でき、混乱なく掲示物を紹介することができた。
- ・係員4名、一週間交代でサイボウズの「広報物の紹介」及び、ホワイトボードに掲示物の掲示、整理整頓を行った。

2 まとめ

- ・サイボウズ周知に関しては掲示物の種類、発行機関も併記することでパソコン上でも分かりやすくなり、また掲示物係の職員にとっても掲示物の内容を大まかに把握することが可能となった。
- ・特に見てもらいたい掲示物については口頭等で積極的に各職員に紹介することも必要だと感じた。

（濱本 豊、熊澤誠治、上川清美、松本和幸）

24 消臭除菌

1 目的

- 1 安心・安全・快適な環境の維持継続
- 2 「菌」「臭い」「汚れ」を取り除く

2 内容

- 1 清掃（日常清掃、巡回清掃、定期清掃、特別清掃）
- 2 消臭（エアーケムの使用）
- 3 除菌（ピューラックス、エコライザー、バイオボールの使用）

3 評価

- 1 エアーケムの交換時期（1～2か月に1回）
- 2 適正な物品使用（化学モップ、雑巾、掃除機）のチェック

4 教育と指導

- 1 抗菌、防かび（微生物の殺菌、生菌についての基礎知識とそのための技術・評価法）
- 2 感染予防策
- 3 適正に実施されているかどうかラウンド、チェック、周知

5 実施と評価について

日常清掃、特別清掃は確実に行われているが、居室内の悪臭が取りきれないため、日常清掃の徹底、排泄訓練等を行う必要がある。

除菌については、日常清掃を行い、薬剤を使用し、感染症予防に努めた。

（田村裕子、熊澤誠治、上川清美、高森 強、田原恵里）

25 人権委員会

1 年間目標

- ・利用者、職員同士においても人権侵害、暴力、暴言は絶対に行わない。
- ・体罰を用いた支援を絶対に行わない。
- ・礼節ある言葉遣いとプライバシー保護への配慮をする。
- ・専門職間の相互支援により、孤立を予防する。

2 具体的重点目標

- ・利用者の呼称は「さん」付けで統一する。
- ・上下関係での叱責語・命令語及び乱暴な言葉は使わない。
- ・高圧的で威嚇するような働きかけはしない。
- ・利用者に対する人権侵害が起きる前段階で、職員同士で声を掛け合い侵害を未然に防ぐ。
- ・「振り返り」を行う事で、支援の見直し、質の向上に取り組む。

3 取り組み

- ・グループ討議の実施。

人権委員会から人権に関する議題を提案し、各グループの定例会議または施設内メール内で意見の募集を行う。過去に論じ重要と思われる議題を再度提案し、現在に至る取り組みを知ってもらう。また、新任職員や長く勤務している職員にも再確認の意味も含めて協議し、利用者に対する係わり方を再考してもらう。

※議題提案及び報告担当者

6～7月…渡邊「言葉遣い全般」

9～10月…竹間「利用者の年齢にあった接し方」

11～12月…竹林「食事場面での人権」

2～3月…岡下「今年度を振り返っての感想・反省」

- ・業務振り返りチェックの実施。

前期（8月）、後期（1月）の2回、全支援職員を対象に「業務振り返りチェックシート」を記入してもらい、自身の支援について見直しを行ってもらう。

- ・ポスター掲示による啓発活動の実施。

暴力、暴言、体罰、ハラスメント根絶、人権擁護、行動規範の徹底。どのような場面でも人権意識を持って対応する事を忘れないように、ポスターを掲示して啓発活動を行う。人権係でポスターを作成し、各グループ職員室、管理棟職員室に掲示する。（3ヶ月毎に張り替えを行う。）

- ・声掛け週間の実施。

平成26年1月20日～31日までの一定期間を「言葉遣いの声掛け週間」として設定し、利用者への言葉遣い、職員間での言葉遣いに焦点を置いて、互いに声を掛け合い注意し合える雰囲気を作れるように取り組みを行う。

- ・「虐待防止チェック」の実施。

全支援員を対象に「虐待防止チェックリスト」を記入してもらい、現状の把握と自身の支援についての振り返りを行う。

4 まとめ・今後の課題

人権議題の提起に苦慮し新しい提案は出来なかった。例年通りの議題を繰り返し話し合う事になったが、何度も討議や振り返りを行う事で、徐々に学園内での人権擁護に対する意識や雰囲気は向上していると感じる。

常に自身の支援を振り返り、職員同士でも注意し合える環境を作る事で、反省や改善を促し、人権擁護について常に意識して頂けるような取り組みを実施していく事が今後必要だと考える。

（渡邊 武、宮崎静美、竹間和輝、竹林祐樹、岡下チエミ）

26 運動マシン

1 目的

メニューの企画とマシンの保守管理

2 内容

- ・トレーニングルームの掃除と点検は定期的に行った。
- ・マシン系の職員は全員マシン操作実技講習に参加した。
- ・アンケート調査（全グループ利用者）を行い個人のレベルを計った。
- ・各グループで利用者の必要に応じて行った。
- ・マシンの操作を理解できた方、できなかった方でグループ分けを行った。
- ・マシン運動は各グループごとで曜日設定し行った。
- ・バイタルチェックを開始終了後に行い利用者の観察を行った。
- ・バイタルチェックのマニュアルの冊子を作成した。
- ・全グループで対応できる3分間歩行テストの準備をした。

3 課題・まとめ

- ・全体的にマシンを使用する時間が少ない。
- ・マシン操作ができない利用者のバックアップを考えなければならない。
- ・日課に取り入れて作業を行えば職員の確保ができる。
- ・拒否、興味が続かないなどマシントレーニングの実施自体が難しい利用者が多く効果的に実施する為の工夫が必要だった。
- ・トレーニングルームは冬はストーブがあるが夏場はとても暑く対策が必要と思う。
- ・マシン操作の困難な利用者には負担（距離や時間では無い）をかけたウォーキングに参加してもらう。

（穂登原亮介、荒瀬好司、渡邊 武）

27 見学者

1 概要

見学希望の依頼があると随時受け入れて行く事で、見学日、内容等の希望を聞き日程調整を行った。特に生活場所の見学については、プライバシー保護の優先と見学内容に合った時間設定を組み実施。

2 見学受入日

・ 4 月 8 日	月曜日	4 名	一般 むぎの家作業所ご利用のご家族
・ 6 月 21 日	金曜日	2 名（入所希望）	母親、障害者生活支援センター 職員
・ 7 月 23 日	火曜日	4 名（短期入所希望）	本人、両親、相談支援事業所 職員
・ 8 月 21 日	水曜日	1 名（入所希望）	ご家族
・ 9 月 25 日	水曜日	2 名	知的障害者授産施設かわせみの家 職員
・ 11 月 14 日	木曜日	6 名	瀬野川学園 施設長、職員、保護者
・ 12 月 6 日	金曜日	3 名（入所希望）	本人と両親
・ 2 月 11 日	火曜日	3 名（短期入所希望）	本人と両親

（宮崎静美）

28 防災

1 目的

- ・災害発生時は、速やかで適切な対処となるよう危機管理体制を充実させる。
- ・消防訓練を反復し疑似体験を積むことを重要とし訓練を積む。
- ・緊急時への対応能力向上を図る。

2 新任職員対象の防災研修会の実施

1）研修内容

①利用者不明時の対応

日勤帯、夜勤帯の連絡方法など
 施設箇所の確認
 危険物の取り扱いと理念

日常的な利用者の所在確認と要注意事項

②消防関係：「防災マニュアル」を資料として基礎知識を習得
消防設備及び施設設備を実地見学

③AED、人工呼吸器、吸引掃除機の設置場所、操作説明

3 緊急時の対応

「吸引掃除機」を食堂の手洗いの下に、いつでも使用出来る状態で保管、点検は随時実施。

「人工呼吸器ユニット118番」と「AED」は職員室と医務室に常置し、随時所在やバッテリー状況を確認している。

4 消防訓練実施状況（◎は防災リーダー）

①4月20日 土曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎塚本課長・全員

②5月28日 火曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎林 ・熊澤・福永

③6月15日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎見土・若床・中岡

④7月20日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎濱本・竹間・今田

⑤8月23日 金曜日 夜間総合訓練－消防署立ち会い 訓練者：◎菅原・高場・竹林

※消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

⑥9月25日 水曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎高田部長・全員

⑦10月28日 月曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎穂登原・堂西・圓藤

⑧11月16日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎藤井・荒瀬・上川

⑨12月14日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎藤 ・川本・岩戸

⑩1月24日 金曜日 昼間の総合訓練 訓練者：◎坂本看護部長・全員

⑪2月13日 木曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎掛川・塚本・高森

※消防署へ消防訓練実施計画書・結果報告書提出

⑫3月8日 土曜日 夜間想定総合訓練 訓練者：◎桑田・中野・福永

5 消火器使用未経験者職員の消火器使用訓練 加圧式消火器使用

・実施日時：7月23日（火）松本真弥 …13時55分～14時10分

7月31日（水）川本亜由美 …11時30分～11時45分

・訓練場所：職員日勤駐車場フェンス外側

6 消防設備点検

年2回実施 平成25年10月・平成26年3月 業者委託により実施。

（宮崎静美）

29 朝礼

実施概要

夜勤者以外の全出勤者が職員室に集まり、9時より実施した。

開会挨拶、服装と身嗜みのチェックから始まり、各グループ、全体係、その他からの報告、予定などの報告、出勤職員の体調状況の報告、笑顔の練習、最後に閉会挨拶で終了する。

毎月9日にはAEDと人工呼吸器のチェックを行った。

発表者の声の大きさやマイクの位置などを再確認し、さらに聞き取りやすい環境を整えていく。

（高田孝康）

30 運営会議

実施概要

- ・園長、全ての部課長の8名で構成され、毎月、月初めに開催し協議した。
- ・会議では、利用者主体の指針を見失わないように、問題提起、課題検討、日程調整等を行い、施設のより円滑な運営と利用者サービスの向上を目指した。
- ・資料など、紙は一切使用せず、プロジェクターを利用して、随時必要な情報はインターネットからも収集し会議を進めた。
- ・会議後は速やかに運営会議録をまとめ、即日、全員に周知した。

(高田孝康)

31 安全運転管理者

1 目標

- ・交通安全に対する意識を高め、交通ルールの遵守と人に優しい交通マナーを実践し交通事故、交通違反を防止する。
- ・車輛の点検、整備を実施し車輛の故障、整備不良による事故が発生しないよう注意する。

2 内容

- ・トライザセーフティ in ひろしまへ9チーム参加
- ・安全運転管理者講習会への参加
- ・安全運転啓発の図書、垂れ幕を掲示
- ・車輛の入れ替え
- ・各季の交通安全運動の周知
- ・車輛の点検、整備を業者に依頼

3 まとめ

- ・トライザセーフティ in ひろしまへ参加した9チーム中6チームが、150日間無事故、無違反を達成する事ができた。3チームが目標達成出来なかったが、これは毎日の安全運転啓発が足りなかったことも関係していると言える。全チーム目標達成出来るよう、安全運転を徹底する取り組みを考えたい。
- ・定期的な車両点検を実施し、今後も整備不良による事故が発生しないよう注意をしたい。

(塚本博志)

32 危険物取扱者

1 概要

地下タンク貯蔵所の灯油漏れを未然に防ぐため法律で定められた点検を定期的に行っている。

2 内容

毎月、掲示板、漏油検知管、通気管、消火器の有無等の点検を行った。

10月には、3年毎の危険物地下タンク及び地下埋設配管気密漏洩検査を実施し、異常は見られなかった。

(後田喜代子)

33 エコロジー

1 理念

限りある資源の活用方法と環境に配慮しエコロジーに対する意識を高める
施設内で実践できるエコ活動の啓発

2 内容

2ヶ月おきにテーマと担当を設けて啓発活動を行う。

エコロジー通信の発行（2ヶ月おき）

（管理棟会議室、各グループの職員室に掲示）

- ・ 6月 7月 省エネ・省資源（クールビズ） 担当：魚見
- ・ 8月 9月 水資源（クールビズ） 担当：堂西
- ・ 10月 11月 大気汚染（ウォームビズ） 担当：高森
- ・ 12月 1月 リサイクル（ウォームビズ） 担当：山下
- ・ 2月 3月 騒音（ウォームビズ） 担当：魚見

3 反省

啓発活動は行ったが実践はあまりできておらず目に見えにくい部分でもあるため取り組みも難しかった。

次年度は太陽光発電も検討されているので見える形で使用電力を把握し節電の数値化ができればより節電意識も高める事ができると思う。

（魚見敏満、堂西美保、高森 強、山下英明）

34 広島県知的障害者福祉協会 支援スタッフ部会

1 概要

広島県知的障害者福祉協会の各施設の支援スタッフ部会員として、施設から選任され参加した。

2 支援スタッフ部会義

5月22日 第一回広島・広島西備北圏域支援スタッフ部会議 場所：さくら学園

2月26日 第二回支援員の為の虐待防止権利擁護研修 場所：皆賀園

①内容

- ・ 支援スタッフ部会の活動内容について
- ・ スタイルファッション誌の企画について
- ・ 日頃の支援の悩みや活動内容について
- ・ 他施設のクラブ活動の内容について

②感想

支援や個別支援計画、クラブ活動など悩みを相談し、色々な取り組み方法を教えてもらうことができた。

また、施設見学もさせていただき他の施設の取り組みなどを教わる事ができた。

活動内容についても参考になる部分も多くあり勉強させてもらった。

（岩戸洋三）

35 ホームページ

常に新鮮な情報と共に、資料的なものを、出来るだけシンプルでわかりやすいページとなるよう配慮して作成し公開した。一年間を平均すると、毎日60件程度のアクセスがあった。

毎月定例で、初日に行う「利用者の状況」「ともえ通信」「待機人数」「アクセスカウンター記録」の更新と共に、3つのグループと厨房の出来事については毎日ブログを更新した。

新たにフェイスブックも開設し、ホームページからリンク出来るようにした。

今後も、個人情報に充分配慮しながら、施設への理解をより深めていただくために旬の情報を提供していきたい。

(前岡孝司)

平成25年度 事業報告書

平成26年 5 月24日発行

ともえ学園 (障害者支援施設)

〒728-0002 広島県三次市西河内町250番地
電話 0824-62-5130 ・ FAX 0824-62-1934
E-mail tomoe@pl.pionet.ne.jp
URL <http://www.pionet.ne.jp/~tomoe/>
